

官報

號外

大正三年十二月十八日

金曜日

印刷局

○第三十五回 衆議院議事速記録第七號

大正三年十二月十七日(水曜日)午後一時三十分開議

議事日程 第六號 大正三年十二月十七日

午後一時開議

- 第一 (第一號) 大正四年度歳入歳出總豫算追加案
- 第二 (第二號) 大正四年度歳入歳出總豫算追加案
- 第三 (特第一號) 大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
- 第四 大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第六 未成年者飲酒禁止法案(根本正君提出) 第一讀會
- 第七 農工銀行法中改正法律案(白川友一君外) 第一讀會
- 第八 輕便鐵道補助法中改正法律案(白川友一君外) 第一讀會
- 第九 地租條例中改正法律案(八見米次郎君) 第一讀會
- 第十 刑法中改正法律案(宮古啓三郎君) 第一讀會
- 第十一 刑事訴訟法中改正法律案(宮古啓三郎君) 第一讀會
- 第十二 織物消費稅法中改正法律案(小林源藏君) 第一讀會
- 第十三 市制中改正法律案(小出五郎君) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 町村制中改正法律案(外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 航空事業國庫補助ニ關スル建議案(兒玉亮太郎君) (委員長報告)
- 第十六 名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案(三輪市太郎君) (委員長報告)
- 第十七 三國港護岸施工ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君) (委員長報告)
- 第十八 置賜輕便鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外) (委員長報告)
- 第十九 村山平野輕便鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外) (委員長報告)
- 第二十 上白鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外) (委員長報告)
- 第二十一 瓦斯事業取締法制定ニ關スル建議案(才賀藤吉君) (委員長報告)
- 第二十二 棉花栽培獎勵ニ關スル建議案(井上篤太郎君) (委員長報告)
- 第二十三 大阪臨港鐵道速成ニ關スル建議案(三谷軌秀君) (委員長報告)
- 第二十四 米價調節及蠶絲業救済ニ關スル建議案(元田肇君外) (委員長報告)

○議長(奧繁二郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- (第三號) 大正四年度歳入歳出總豫算追加案
- 一 貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
- 一 巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
- 一 政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正三年十二月十七日

内閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議長奧繁二郎殿

衆議院議員若杉喜三郎君提出東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問ニ對スル別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員若杉喜三郎君提出東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 東京帝國大學醫科大學教授ハ何レモ學生ノ教授及學術ノ研究ニ於テ十分其ノ職務ニ勉メテアリ而シテ一部ノ教授ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケ公務ノ餘暇治療ニ從事スルカ如キ別ニ之ヲ不都合ト認メス

二 大學教授ヲシテ常ニ學問ノ進歩ニ後レシラシムルノ必要アルハ論ヲ俟タスト雖モ目下之カ爲ニ處分ヲ要スル者アルヲ認メス

三 質問ノ如キ事實ナシ

右及答辯候也

大正三年十二月十七日

文部大臣法學博士一木喜徳郎

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

米價調節及蠶絲業救済ニ關スル建議案

提出者 元田 肇君

床次竹二郎君

米價調節ニ關スル建議案

提出者 中倉 萬次郎君

渡邊 修君

福井 準造君

三輪 市太郎君

小川 藏次郎君

大岡 育造君

永江 純一君

齋藤 珪次君

粕谷 義三君

大橋 松二郎君

井上 篤太郎君

樋口 典常君

岡崎 邦輔君

恆松 隆慶君

上埜 安太郎君

松田 吉三郎君

帆足 隼太郎君

齋藤 宇一郎君

農業資金融通ニ關スル建議案

提出者

加賀卯之吉君 奥田 柳藏君 石田 孝吉君
高橋久次郎君 荒川 五郎君 仲小路與平治君
小西 和君 伊藤 英一君 安田伊左衛門君
有田 溫三君 森田 小六郎君 市川 文藏君

恆松 隆慶君

中倉 万次郎君 齋藤 珪次君
渡邊 修君 粕谷 義三君 上埜 安太郎君
福井 準造君 大橋 松二郎君 松田 吉三郎君
三輪 市太郎君 井上 篤太郎君 帆足 隼太郎君
小川 藏次郎君 樋口 典常君 齋藤 宇一郎君
加賀卯之吉君 奥田 柳藏君 石田 孝吉君
高橋久次郎君 荒川 五郎君 仲小路與平治君
小西 和君 伊藤 英一君 安田伊左衛門君
有田 溫三君 森田 小六郎君 市川 文藏君

一議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ
移民政策ニ關スル質問

提出者 西村 丹治郎君

大藏書記官 今村 次吉

大藏省所管事務政府委員被仰付

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去十五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

鑛業法中改正法律案

三浦 盛徳君

矢野 莊三郎君

清水 市太郎君

岩本 平藏君

矢島 浦太郎君

細梅 三郎君

柴田源左衛門君

中川 虎之助君

中野 實一君

關 信之介君

森田 俊左久君

酒造稅法中改正法律案

關 信之介君

半谷 清壽君

三輪 市太郎君

關 純義君

大西 五一郎君

村井 善四郎君

豐福 泰造君

津島源右衛門君

齒科醫師法中改正法律案

清水 市太郎君

綾部 惣兵衛君

根本 正君

丸尾 光春君

林 毅陸君

瀨戸山 清彦君

吉田 圓助君

佐野 喜平太君

國光 五郎君

漆 昌巖君

山宮 藤吉君

運河法中改正法律案

法橋 善作君

風間 禮助君

武市 庫太君

柏原 文太郎君

井坂 光暉君

福田 又一君

工藤 吉次君

實用新案法中改正法律案

宮古啓三郎君

井坂 光暉君

佐々木 仙一君 護得久 朝惟君 津末 良介君
目黒 孝平君 土方 千種君 加瀬 禧逸君

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案

石川 甚作君 濱本 義顯君 森川 源吾君

白川 友一君 三浦 覺一君 井手 三郎君

山道 襄一君 守屋 此助君 田中 善立君

東方調査局設置ニ關スル建議案

戸水 寛人君 樋口 典常君 鈴木 巖君

松浦 五兵衛君 堀内 啓治君 小林 勝民君

平山 岩彦君 伊東 知也君 岡部 次郎君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

市制中改正法律案外一件委員會

委員長 小出 五郎君 理事 永見 寛二君
犬飼 源太郎君

鑛業法中改正法律案委員會

委員長 清水 市太郎君 理事 細梅 三郎君

酒造稅法中改正法律案委員會

委員長 三輪 市太郎君 理事 麓 純義君

齒科醫師法中改正法律案委員會

委員長 清水 市太郎君 理事 根本 正君

運河法中改正法律案委員會

委員長 漆 昌巖君 理事 柏原文太郎君

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案委員會

委員長 守屋 此助君 理事 山道 襄一君

東方調査局設置ニ關スル建議案委員會

委員長 戸水 寛人君 理事 伊東 知也君

○議長(奥藏三郎君) 會議ヲ開キマス、チヨット御諮リヲ致シマス、第六部選出豫算

委員高橋直治君、第九部選出豫算委員森久保作藏君、第四部選出決算委員井手

三郎君、第三部選出懲罰委員安東敏之君、右何レモ常任委員辭任ノ申出ガアリマ

シタ、許可シテ御異議アリマセスガ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥藏三郎君) 御異議ガナイト認メテ許可致シマス、各其部、諸君ハ補闕ヲ

速ニ致シテ届出アラシコトヲ望ミマス、若槻大藏大臣

(拍手起ル)

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 神宮宮域擴張費並ニ明治神宮御造營費ガ、大正四

年度總豫算追加案第三號ニシテ本院ニ提出ニナリマシタニ付テ、此ニシテ諸君ニ御紹

介申上ケルコトハ、私ノ最モ光榮ト致ストコロデアリマス、右總豫算追加案ニ計上シテア

リマストコロノ歳出ハ、臨時部内務省所管神宮宮域擴張費五万八百九圓及明治神宮御造營費五十六万五千四百二十四圓、合計六十一万六千二百三十三圓デアリマシテ、前年度剩餘金ヲ以テ之ヲ支辨スルノ計畫デアリマス、抑、伊勢ノ大廟ニ付キマシテハ、其宮域ニ於ケル風致ノ森嚴防火ノ保全ヲ期シマスルガ爲ニ、宮域ヲ擴張致ス必要ガアルデアリマス、又曩ニ明治天皇奉祀ノ議ノアリマスルヤ、政府ハ特ニ是ガ調査會ヲ設ケマシテ慎重ナル審議ヲ遂ゲシメテ、今ヤ其審查ノ結果、東京市外代々木ノ地ヲ選シテ此ニ神殿ヲ奉建シ、大正四年度以降六箇年度間ニ完成スルコト、致シテ、併セテ昭憲皇太后ノ御坤德ヲ欣仰シ奉ル爲ニ、之ヲ同殿ニ奉祀スルノ計畫ヲ定メマシテ、各其必要ナル費用ヲ計上致シタノデアリマス、恭シク惟ミマスルニ、皇祖太廟ノ宮域ヲ治メテ臣民崇敬ノ至誠ヲ致シマスコトハ、國民ノ最モ光榮ト致ストコロデアリマス、又明治天皇ノ盛德鴻業ハ今更之ヲ稱ヘ奉ルベキ言葉サヘ無イ次第デアリマシテ、其御治蹟ヲ奉頌シ之ヲ永遠ニ紀念シ奉リ、以テ臣民敬慕ノ赤心ヲ表シマスコトハ、我同胞ノ等シク祈願シテ已マナイトコロデアラウト存ジマス、私ハ諸君ガ慎重審議以テ速ニ本豫算案ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切ニ希望致シマス

(拍手起ル)

○大岡育造君 議長

○議長(奥繁三郎君) 大岡君、報告ノ積リデアリマス

○大岡育造君 サウデス

○議長(奥繁三郎君) ヲレデハ日程ヲ申シマス、日程第一乃至第三ハ大禮費豫算ノ追加案デアリマスカラ一括シテ議題ト致ス考デアリマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガアリマセヌカラ、第一號、大正四年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、大正四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ヲ一括シテ議題ト致シマス、唯今委員長大岡育造君ノ報告ガアリマス

第一 (第一號) 大正四年度歳入歳出總豫算追加案

第二 (第二號) 大正四年度歳入歳出總豫算追加案

第三 (特第一號) 大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 諸君、私ハ茲ニ謹ンテ御大禮費ノ豫算審查ノ經過並ニ結果ヲ御報告致スノ光榮ヲ擔ヒマス、唯今議長ヨリ宣告ニナリマシタ、第一號、第二號、特第一號、此三案ニ關シテハ曩ニ大藏大臣ガ本會ニ詳シク説明ガアリマシタガ、更ニ昨日丁寧ナル説明ヲ承リマシテ、豫算委員ハ總會ニ於テ慎重審議ノ上滿場一致可決ヲ致シマシタ、此段ヲ御報告致シマス(拍手起ル)更ニ一件大正四年度歳入歳出總豫算追加ノ第三號ニ關シテ茲ニ報告スルノ光榮ヲ擔ヒマス、ソレハ唯今若槻大藏大臣ヨリ此處ニ説明セラレマシタ案ヲ、本日豫算委員會ニ於テ先ヅ説明ヲ受ケマシテ、慎重審議ノ上滿場一致可決致シマシタ、此段モ御報告申シマス

(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 採決致シマス、日程ノ第一號、第二號、特第一號ノ各案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立 總員

○議長(奥繁三郎君) 全會一致ヲ以テ可決確定致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 唯今委員長ヨリ第三號、大正四年度歳入歳出總豫算追加案ノ報告ガアリマシタ、此際日程ヲ變更シテ此案ヲ議事ニ付シマス考デアリマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス

(第三號) 大正四年度歳入歳出總豫算追加案

○議長(奥繁三郎君) 別ニ質疑モアリマセヌカラ、直ニ採決スル考デアリマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立 總員

○議長(奥繁三郎君) 全會一致ヲ以テ可決確定致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 日程第四、大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第四 大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案(政府提 第一讀會 出)

大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案
大嘗祭ノ齋田ニ指定セラレタル土地ニ付テハ大正四年分地租ヲ免除ス
府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ對シ大正四年度ニ於テ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス
本法ニ依リ免除シタル稅金ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 恭シク惟ミマスルニ、大嘗會ノ齋田ハ本年十一月行ハルベキデアリマシタコロ、不幸ニシテ御延期ニ相成リマシタコトハ誠ニ恐懼ニ堪ヘザルトコロデアリマス、而シテ今回更ニ明年秋冬ノ候ニ於テ舉行アラセラル、コトニ御内定アラセラレマシタニ付キマシテ、其由基主基ノ齋田ニ指定セラレマシタ土地ニ付テ、尙ホ大正四年度地租ヲ免除スルノガ至當デアルト認メマシテ、茲ニ本案ヲ提出シテ諸君ノ御協賛ヲ仰グ次第デアリマス、希クハ慎重審議速ニ御協賛アラント切望ニ堪ヘマセヌ

(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 日程第五、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○中村啓次郎君 チョット其前ニ伺ヒタイノデ、政府ヨリ本案ハ即決サレタイト云フ要求ハナカッタデアリマス

○議長(奥繁三郎君) アリマセヌ

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中村君陳述ノ委員選舉ノ方法、及委員ノ員數ハ中村君發議ノ通り御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハナシト認メマス、中村君發議通り決定致シマス、日程第六、未成年者飲酒禁止法案、第一讀會ヲ開キマス——根本正君

第六 未成年者飲酒禁止法案(根本正君提出) 第一讀會

未成年者飲酒禁止法案

未成年者飲酒禁止法

第一條 未成年者酒類ヲ飲用シタルトキハ五十錢以下ノ科料ニ處ス

第二條 未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者其ノ飲酒ヲ制止セサルトキハ一圓以下ノ科料ニ處ス

親權ヲ行フ者ニ代リテ未成年者ヲ監督スル者其ノ飲酒ヲ制止セサルトキ

及未成年者ニ對シテ飲酒ヲ勸誘シタル者亦同シ

第三條 未成年者タルヲ知リテ酒類ヲ飲用セシメ又ハ其ノ自用ニ供スルコトヲ知リテ販賣若ハ給與シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(根本正君登壇)

(「簡單ニ説明ヲ願ヒマス」又ハ「反對」ト呼フ者アリ)

○根本正君 諸君、未成年者禁酒法案ハ年來ノ問題デアリマシテ、諸君ハ既ニ御贊成ニナッテ居ルコトハ明治四十一年以來デアリマスカラシテ、此内容ハ能ク御承知ノコト

デアリマスカラシテ、別ニ御説明ヲスルノ必要モナシト思ヒマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)併ナガラ僅カ其必要ナル點ヲ申上ゲタイト思フデアリマス、此未成年者禁酒ト云フコトハ、或ハ善イト云フ其議論ハ既ニ能ク分ッテ居ルコトデアリマシテ、誰方デモ未成年者ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ善イト云フ御方ハ、御一人モ無イト云フコトヲ信ジマス、殊ニ酒ヲ飲ム此法律ニカ、若クハ調ベテ見マスルト云フト、殊ニ青年ノ者ガ多イデアリマス、三十歳以下ノ者ガ多イ、尙又ツレヨリ一層多イノハ二十五歳以下ノ者デアリマス、近年ニ殊ニ不良少年ナド、云フ者ガ多クナリマシタノハ、全ク酒ヲ賣ル方法ガ昔ト違ッテ、イロ／＼ノ方法ヲ以テ或ハ「バー」デアルトカ、或ハ「サルウン」デアルトカ云フヤウナ譯デ、非常ニ此青年ニ害ヲ與ヘルモノハ酒デアリマス(「サウ云フコトヲ言フト反對スルゾ」ト呼フ者アリ)是ニ於キマシテ反對ノ理由ハ、此問題ハ道德問題デアアル、或ハ教育ノ問題デアアル、或ハ宗教ノ問題デアアルト云ッテ御反對ニナル御方モアルデアリマス、併ナガラ今日何事ニ依ラズ單ニ教育ヤ宗教ニ依ッテ政治ヲスルト云フコトハ出來マセヌデアリマス、例ヘバ監獄ニ或者ガ呼バレル時分ニ、道德上ニ於キマシテハ其人ガ罪ヲ犯サヌ時分ニハ何等心ヲ痛ムルコトハナイデアアル、併ナガラ此監獄ニ呼バレル時分ニハ、道德的ニハサ

ウデアリマセウケレドモ、何人モ快クナシト云フコトニナッテ居ッテ、道德ヤ宗教ニ於テ取締ハ出來ナイ、故ニ此法律ト云フモノガアルデアアル、故ニ此點ニ於キマシテモ、法律ト云フモノハ最も必要デアルト云フコトハ明カナコトデアリマス、殊ニ教育ノ方針ト云フモノガ明治ノ初年ト違ッテ、明治三十一年以來法律ノ結果、即チ租稅ヲ以テ一般ノ普通教育ヲスルコトニナッテ居リマス、是ガタメニ八千万以上或ハ町稅村稅ト云フモノヲ以テ此普通教育ヲナス以上ニハ、之ヲ取締ルノニモ亦法律ヲ以テ取締ラナケレバナラヌト云フコトニナルノハ當然ノ理由デアリマス、ソレコレ此法ハ最も大切ナル法案デアリマス、終リニ臨シテ一言申上ゲテ置キタイノハ、此法案ハ何時デモ諸君ハ御贊成ニナッテ、貴族院ニ於テ破レル法案デアリマス、此貴族院ノ諸君ガ之ヲ破ルトコロノ最も大ナル理由ト云フモノハ、即チ取締ガ出來ナイ、或ハ道德宗教問題デアルト云フコトデアアル、殊ニ昨年ノ議會ニ於キマシテ、是ニ御反對ニナリマシタコロノ理由トスルトコロハ種々アリマスカレドモ、諸君ハ既ニ官報ニ依ッテ御承知デアリマスガ、林伯爵ノ御演說ガ最も有力ナル御演說デアルト思ヒマス、其御演說ノ骨子タルヤ、日本ノ英雄豪傑ハ酒ト女ガナケレバナラヌト云フコトヲ仰ッシヤッデアアル(「ヒヤ」ト云フ)是等ハ實ニ國家ヲ無視スルトコロノモノデアアル、日本ノ英雄豪傑ハ誰デアリマセウカ、私ノ眼中ニハ水戸ノ義公、即チ黃門光圀公ノ如キ、是ハ實ニ無雙ノ忠君愛國ノ人デアリマス、此人ガ酒ト女ト云フモノハ敵デアルト云フコトヲ壁書ニ於テ表ハシタデアリマス、此ノ如キ國家無雙ノ忠君愛國タルトコロノ義公、其他或ハ藤田東湖先生、或ハ吉田松陰先生ノ如キモ此酒ノコトニ付テハ大ニ戒メテアルノデアアル、デアリマスカラシテ、一言此事ハ大ニ社會ニ訴ヘテ、貴族院ノ反省即チ林伯爵ノ御意見ヲ御採用ナク、此光圀卿即チ水戸義公ノ遺訓ニ御贊成アランコトヲ私ハ希望シタイデアリマス、(此時、高山彦九郎ハ如何ト呼フ者アリ)高山彦九郎モ其一人デアリマスガ、其子孫ハ如何デアリマスガ、親ガ餘リ酒ヲ飲ムカ今日其子ハ酒害ノタメ小使ヲシテ居ルヤウナ譯デアリマス、此酒ヲ戒メタコトニ付テ義公ハ九箇條ノ壁書ガアリマス、第一「苦ハタノシモノヲ樂ハ苦ノ種ト知ルベシ」第二「主人ト親トハ無理ナルモノト思ヘ下人ハタラヌモノト知ルベシ」第三「子ホド親ヲ思ヘ子ナキモノハ身ニタクラベルチカキ手本ト知ルベシ」第四「オキテニオチヨ火ニオチヨ分別ナキモノニオチヨ恩ヲ忘ル、事ナカレ」此處ガ即チ大切ナルトコロデアリマス、第五番目ニ於テ「欲ト色ト酒トヲカキキト知ルベシ」即チ日本ノ英雄豪傑ハ、或ハ女ガ無ケレバナラヌト云フ一言ヲ林伯爵ハ申サレマシタガ、日本ノ此偉人、大日本史ヲ以テ日本ノ改革ヲ今日マデ致シタコロノ義公ハ、此ノ如ク申サレテアルデアアル、此一言ハ實ニ大切ナルコトデアリマス、欲ト色ト酒トハ敵ト知ルベシ、今日獨逸ガ歐洲ノ戰亂モ即チ傲慢ナル欲カラ出テ居ル譯デアリマス、序ニ「ツツアルカラ申シテ置キマス、第六「朝寢スベカラズ咄ノ長座スベカラズ」是等モ酒ヲ飲ミマスカラ翌朝ニナッテ朝寢スルノデアアル、第七「小ナル事ハ分別セヨ大ナル事ハ驚クベカラズ」第八「九分ハタラズ十分ニコボル、ト知ルベシ」第九「分別ハ堪忍ニアリト知ルベシ」此ノ如クニ九ヶ條ハ何レモ酒ヲ飲ム居ル人ノ決シテ行フコトノ出來ヌ問題デ、是即チ日本ノ英雄豪傑タル人ノ遺訓デアリマス、ドウカ貴族院ノ諸君ハ、殊ニ此忠君愛國ノ諸君ハ源ノ義公ノ遺訓ヲ御贊成アッテ、此法案ニ御贊成アランコトヲ望ム、長州ノ吉田松陰先生ハ酒モ飲ミマセヌ、煙草モ喫ミマセヌ、ツレガ故ニ長州ヨリ彼ノ人ノ教育ヲ受ケタ人ガ今日皆有力ナ者ニナッテ居ルデアリマス、終リニ臨

ンデ東湖先生が酒ヲ大ニ飲シテ云フコトガアル、成程諸君ハ「瓢兮瓢兮我愛汝」ト云フ詩ヲ詠シテ、東湖先生ハ如何ニモ酒ヲ飲シテ思召スガ、決シテ青年ノ時代デナイ、三十歳以上ノ時分デアリマス、此東湖先生が住田長太夫ト云フ人ニ手紙ヲヤッタデアリマス、ソコニ斯ウ云フコトガアル、諸君、日本ノ英雄豪傑ハ決シテ若イ時ニ酒ヲ飲ミマセヌ、ドウカハ御記憶ヲ願ヒタイ「前略先達テ貴地帯在中ハ何カト御差引ニ相成奉謝候痔病御尋被下辱ナク奉存候酒ト俗吏ヲ罷メ不申テハ免角時々相發シ難義仕候」ト書イタル、酒ヲ廢メナケレバ此病氣ガ治ラヌト云フ、サウシテ三十四歳ニ相成リ始メテ此子供ヲ持ッテ、親ノ恩ト云フモノヲ發明シタト云フコトガ書イタルデアアル、ドウカ諸君、酒ト女ガナカタナラバ、英雄豪傑ニナラヌト云フヤウナ途方モナイ説ヲ以テ、貴族院ガ之ニ反對スルト云フコトハ、日本五千餘万否八千万ノ人口ヲ無視スルトコロノ議論デアアルト私ハ信ジマス、ドウカ此事ハ決シテ小ナル問題デナイデアアル、決シテ一個師團ヲ贊成スルヤ贊成シナイヤノ問題トハ違ヒマス、五百万以上ノ我青年或ハ工場ニ居ルトコロノ職工、是等ニ依ッテ我日本ノ未來ニ如何ナル影響ヲ及スカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、諸君、今日眞面目ニナラナケレバ、此日本帝國ヲ治ムルコトハ出來ナイ、我北方ニ居ルトコロノ露西亞ハ如何デアリマス、六億五千万ノ租稅ヲモ廢シテ今日禁酒ヲシテ歐羅巴大ナル勝利ヲ得テ居ルデアリマセヌカ、日本ニ於キマシテモ單ニ東洋ノ平和ヲ來スニ汲々ナラヌミナラス、世界ノ平和ヲ來ストコロノ責任ガアル、ソレニハ即チ酒ヲ禁ジ、大ニ日本ノ勢力ヲ後來ニ増長アラントヲ願ヒマス（拍手起ル）

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁二郎君） 中村君ノ委員付託ノ動議ニハ贊成ガアルヤウデアリマス、委員付託ニ決シマス、尙其委員ノ選舉ノ方法及人數ハ、中村君發議ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁二郎君） 御異議ハナイト認メマス、中村君發議通り可決致シマス、日程第七、農工銀行法中改正法律案 恆松隆慶君

第七 農工銀行法中改正法律案（白川友一君外十六名提出） 第一讀會

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

農工銀行法第六條ニ左ノ一號ヲ加フ

六 輕便鐵道財團ハ本法ノ適用ニ付キテハ之ヲ不動産ト看做ス

〔恆松隆慶君登壇〕

○恆松隆慶君 諸君、唯今第七ノ日程ニ上ッテ居リマスルトコロノ議案、農工銀行法中改正法律案デゴザイマス、此提出者ノ中ニ不肖モ加ッテ居リマス、故ニ此場合此處ニ出テ簡單ニ説明ヲ申述ベヤウト思ヒマス、根本君ノ熱心ナル壯快ナル御演説ガアリマシタ後デアリマスデ、頗ル私ハソレニ代ッテ簡單ニ申述ベマスガ、案モ亦簡單ナ案デゴザイ

マス、農工銀行法ノ第六條ニ左ノ一號ヲ加フト云フノデ、即チ輕便鐵道財團ハ本法ノ適用ニ付キテハ之ヲ不動産ト看做ス「ト云フノ改正案デゴザイマス、是ハ曩ニ第三十一議會ニ於テ勸業銀行ノ方ハ此輕便鐵道ヲ不動産ト看做シテ、サウシテ金融ノ途ヲ啓クト云フコトニナッタデアリマス、然ルニ未ダ農工銀行ノ方ニ此改正ガ行ハレテ居リマセヌガタメニ、地方ノ交通發達上、此資金運用ニ甚ダ不便ヲ來シテ居ルデアリマス、此農工銀行ニ於キマシテモヤハリ勸業銀行ト同様ニ、之ヲ不動産ト看做シテ、サウシテ金融ノ途ヲ啓クト云フノガ最モ刻下ノ急務デアアル、地方ノ産業發達ニハ最モ適當ナコトデアアルト云フノ所以デ、茲ニ提出致シタデアリマス、ドウカ速ニ御同情アラムコトヲ切ニ願ヒマス、次ニ第八ノ議長ノ許可ヲ得マシテ、是モヤハリ聯帶シタ問題デゴザイマスルノデ、此場合ニ説明ヲ致サウト云フ考デアリマス、是ハ輕便鐵道法中改正法律案デアアル、是ハ又頗ル簡單ナ案デゴザイマス、第一條中「一年五分」トアルノヲ「一年六分」ニ改メルト云フノデゴザイマス、是モ三十三議會ニ一旦提出シタ案デゴザイマシテ、大體ニ於キマシテハ是レデ宜シイト云フコトノ委員會ノ意見デゴザイマシタガ、免ニ角サウ法律デハキリトナクトデモ、事實ノ上、實質上ニ於テ六分ヲ與ヘルヤウナ都合ニスルト云フ當時ノ政府委員ノ意圖デゴザイマシテ、ソレナラバ政府ノ意圖ニ任シテ宜シイト云フ都合ニ、委員會ニ於テ一旦殆ド妥協的ニ成リテ居ッタデアリマス、然ルニ其後鐵道院モ段々更迭ニナリマシタガタメニ、實行催促ニ及ブト、ハッキリ其事ガ六分ト云フコトヲ認メル場合ニ行カナイノデゴザイマス、是ハ今日ノ財界ニ於キマシテモ、一般金利モ高マリ、斯ウ云フ事業ヲ新ニ興スニ於キマシテモ、亦既設ノ會社ニ於キマシテモ、此五朱デハ到底之ヲ維持シ又新規ニ輕便鐵道ノ發達ヲ圖ル上ニモ甚ダ困難デアリマス、又輕便鐵道ガ無クテモ國家ガ總テノ本鐵道ガ國有デアリマスカラ、ドントノ敷設ヲスルト云フコトニナレバ宜シイケレドモ、是亦豫定ノ計畫ヲ免角繰延又ハ中止スルト云フヤウナ有様デアリマスカラ、今日ノ場合本鐵道ヨリモ寧ロ金カ少ナイトコロノ輕便鐵道ヲ民間ニ於テ之ヲ敷設スルトコトヲ大ニ獎勵シ、其代リニハ幾分ノ利子ケケデモ、五分ヲ六分位ニ改メルコトガ適當ノコトデアラウト思ヒマス、斯様ナ事業ノ發達ヲ圖リ地方ノ公益產業ヲ進メル上ニ於テモ、是ダケ位ノ改正ハ最モ適當ナ事デアルト考ヘマス、又事實ニ於キマシテハ第三十一議會ニ於キマシテモ、政府當局者モ事實サウスル、ソレナラバ政府ノ言フ儘ニ任シテ置カウト云フ位ニナッタノガ、今日實際ニ行キマス、マダハッキリシタコトノ解決ガシテ居ラスノデアリマスカラ、已ムヲ得ズ此場合此案ヲ提出シタ次第デアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ御協賛アラント切ニ希望致シマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、兩案トモ一括シテ同一委員ニ付託スル

〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長（奥繁二郎君） 中村君發議ノ委員付託並ニ委員數、選舉ノ方法、即チ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フ中村君ノ御發議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長（奥繁二郎君） 御異議ハナイト認メマス、中村君發議ノ通り可決致シマス、日程第八ハ既ニ説明済デアリマシタ、動議ガ出マセヌカラ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス

○恆松隆慶君 第七、第八ハ既ニ委員付託トナツテ極ッダヤウニ思ヒマス
○議長(與繁三郎君) マダデス、第七ダケデス、第八ハ説明ガアツダケデス
○中村啓次郎君 第七ト第八ハ一括シテ同一委員ニ付託スルコトヲ動議トシテ提出シテ積リデス

○議長(與繁三郎君) ソレデハ第八ハ説明ガアツダケデアリマスガ、唯今中村君ヨリ日程第八ニ付テモ委員付託ノ動議ガアリマシテ、其委員ノ員數モ第七ト同ジク議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトヲ發議デゴザイマスガ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

第八 輕便鐵道補助法中改正法律案(白川友一郎君 第一讀會
外十六名提出)

輕便鐵道補助法中改正法律案
第一條中「二年五分」ヲ「一年六分」ニ改ム

○議長(與繁三郎君) 第八日程ノ委員付託ニ別ニ御異議ナシト認メマス、中村君發議ノ通り可決致シマス、日程第九、地租條例中改正法律案第一讀會ヲ開キマス
人見米次郎君

第九 地租條例中改正法律案(人見米次郎君外一名 第一讀會
提出)

地租條例中改正法律案
地租條例中左ノ通改正ス

第三條第五項中「第一類地又ハ第二類地ノ山崩、川缺、押堀、石砂入、川成、海成、湖水成等ノ如キ天災ニ罹リ地形ヲ變シタルモノ」ヲ下ニ「及旱害ニ由リ土性硬化シテ田地龜裂レ特殊ノ工事ヲ施スニ非サレハ復舊セサルモノ」ヲ加フ

(人見米次郎君登壇)
(拍手起ル)

○人見米次郎君 地租條例中改正法律案、是ハ前ノ第三十一議會ニ於テモ提出ヲ致シタノデアリマス、其當時委員會ニ於テ政府ノ方面ニハ餘リニ反對ノ聲ハ無カッタノデアリマス、今回又之ヲ提出スルコトニナリマシタ、其要點ニ就テ極メテ簡單ニ説明ヲ致シマス、此地租條例ノ第三條第五項ハ荒地ノ種類ヲ明記サレテアル箇條デアリマシテ、洪水、山崩又ハ海嘯等ノ場合ニ於ケル荒地ノ免租トナルモノヲ説明ラシテ居リマス、其次ニ旱魃ニ依リマシテ非常ナ荒地ヲ生ジタル場合ニ、ヤハリ是モ此免租ノ恩典ヲ爲スト云フコトニシタイノデアリマス、本來此旱魃ニモ程度ガアリマスガ、強烈ナル粘土ノ所ガ旱魃ニナリマスルト云フト、非常ナ龜裂ヲ生ジマシテ、田地ノ床張三錫乃至四錫以上ノモノハ悉ク土質ガ硬化致シテシマヒマシテ、其景況ハ恰モ素焼ノ土器ニ於ケルヤウナ姿ニナリマス、再ビ之ニ灌溉水ヲ入レマスモ、尙籠ニ水ヲ盛ルガ如キ狀態トナリマシテ容易ニ復舊ヲ致シマセヌ、ソレ故ニ悉ク床張以上ヲ替土ヲ致シマスルニハ大變ナ入費ガ掛リマス、ソレハ洪水ノ場合ニ於ケル砂利ヲ除ケ、或ハ山崩ノ場合ニ於ケル土砂ヲ除ケマシテ復舊ヲ爲

スト少シモ變ラヌノデアリマス、是マデ政府ノ方ニ於キマシテ左様ナ場合ニハ、特別出願ヲ致シマスルト免租ノ手續ニナツテ居リマスケレドモ、條例ニ明文ガアリマセヌ爲ニ、或縣ニ於テハ其特典ニアツカリ、或縣ニ於テハ其恩典ニ浴スルコトガ出來ヌト云フ狀態デアリマス、ソレデハ頗ル公平ヲ缺キマスカラ茲ニ明文ニ現ハシテ公平ヲ期シタイト云フノデアリマス、委細ノコトハ委員會ニ於テ十分ニ説明ヲ致シマスルガ、免租角旱魃ノ場合ニハ必要ナ條項デアリマスルカラ、諸君ニ於キマシテモ御贊成アラントラ希望致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 中村君ノ發議ノ委員付託ノ動議、其委員選舉ノ方法ハ異議ナイヤウデゴザイマスカラ中村君ノ發議通り可決致シマシタ、日程第十及第十一ノ二案ハ一括シテ議題ニ供シタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、刑法中改正法律案、刑事訴訟法中改正法律案、二案ヲ議題ト致シマシテ第一讀會ヲ開キマス——宮古啓三郎君

第十 刑法中改正法律案(宮古啓三郎君外十六名提出) 第一讀會
刑法中改正法律案
刑法中左ノ通改正ス

第九十六條ノ二 裁判、檢察、懲罰ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其職務ヲ行フニ當リ刑事被告人其他ノ者ニ對シ恐嚇又ハ詐言ヲ用ヒタルトキハ三年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一 刑事訴訟法中改正法律案(宮古啓三郎君外十六名提出) 第一讀會
刑事訴訟法中改正法律案

刑事訴訟法中左ノ通改正ス
第四十八條ノ二 檢察、司法警察官又ハ司法警察ノ職務ヲ行フ者カ捜査上作成シタル文書ハ裁判上ノ證據ト爲スコトヲ得ス

前項ノ文書ハ檢察官豫審ヲ求メタル事件ノ訴訟記録ニ之ヲ添附ス可カラ

(宮古啓三郎君登壇)

○宮古啓三郎君 簡單ニ此二案提出ノ趣意ヲ申上ゲマス、此二案ハ人權蹂躪豫防ノ法案デゴザイマス、諸君ノ御承知ノ通り第三十一議會ニ於キマシテ豫算ヲ決議スル際ニ當リテ、政府ニ向ッテ一ノ警告ヲ與ヘテアリマス、其警告文ハ斯様ニナツテ居リマス、檢察其職務ヲ執行スルニ當リ往々苛酷ニ流レ法規ニ違反シ人權ヲ蹂躪スル事少ナカラズ今ニ於テ之ヲ矯正セザンバ司法權ノ威信ヲ維持スル能ハザルノミナラズ國家組織ノ基礎ニ危害ヲ及ボスノ虞アルモノト認ム司法大臣ハ嚴ニ部下ヲ監督シテ司法行政ノ刷新ヲ圖リ將來人權尊重ノ實ヲ舉ゲムコトヲ望ム、斯様ナ警告ヲ與ヘテアルノデアリマス、此警告文ニ示シテアリ

立つノデアリマス。恰モ架空ノ小説ノ如キモノガ成立スルヲアリマス。小説ノ如キ書ヲ以テ人ノ罪ヲ斷ズルト云フコトニナリマシタナラバ、即チ其裁判ヲ誤ルト云フコトモ當然免レナイノゴザイマスカラ、實ニ愼マザルベカラサルモノデアラウト存ジマス、ツレ故ニ刑事訴訟法ニ於テハ其九十四條ニ於テ恐嚇詐言ヲ用ユルコトヲ禁ジテ居リマス、併ナガラツレニ對スル制裁ノ條文ガアリマセヌカラ、今ヤ全ク一ノ空文ニ屬シテ居ルデアリマス、ツレ故ニ本案ニ於キマシテ、此空文ヲ空文タラシメザルヤウニ制裁ヲ加ヘント欲スルノデアリマス、而シテ其事タルヤ、獨リ判事ニ對シテ必要ナルモノタルノミナラズ、檢事、司法警察官等ニ對シテモ同様必要デアリマスカラ、此等ノ人ニ對シテモ制裁ヲ附セントスル趣意デアリマス、第二ニ刑事訴訟法改正ノ趣意ハ、是マデモ屬シ議論ノアリマシタコロロ、彼ノ檢事司法警察官等ガ拵ヘルコロノ聽取書等ノ如キモノヲ證據トシテ採用セザラシメントスル趣意ニ出デタノデアリマス、申スマデモナク檢事司法警察官等ハ、犯罪搜查ノ職權ガアリマスカラシテ、其便宜ノ上ニ於テ聽取書ノ如キモノヲ作ルト云フコトハ宜イノデアリマスケレドモ、併ナガラ此モノタルヤ決シテ裁判上ノ證據トナルベキ性質ノモノデハゴザイマセヌ、裁判上ノ證據トナスガタメニハ、特ニ刑事訴訟法ニ於テ鄭重ナル手續ヲ置イテアルノデアリマス、即チ豫審判事ガ書記ノ立會ヲ以テ訊問ヲ爲シ、立會ノ書記之ガ調書ヲ作り、而シテハ被告若クハ證人等ニ讀聞カセ、其署名捺印ヲサセ、又證人ノ方ニ對シテハ宣誓ヲサセ、鄭重ナル手續ヲ經テ作リ上ツタ調書ナルモノガ即チ證據トナルノデアリマス、然ルニ聽取書ノ如キモノハ如何デアルカ、是ハ檢事若クハ司法警察官ガ勝手ニ作ルモノデアアル、之ニ對シテハ決シテ被告人若クハ證人ノ署名捺印ヲ要求スルモノガナイノデアリマス、又書記ノ立會ヲ要求シテ居ル條文モナイノデアリマス、又證人ニ向ッテ宣誓ヲ要求シテ居ルコトモナイノデアリマス、勝手次第第二檢事若クハ司法警察官ガ作ルコトノ出來ルモノハナイト思ヒマス、斯ノ如キ調書ヲ以テ證據トデアツタナラバ、實ニ危險是ヨリ大ナルモノハナイト思ヒマス、斯ノ如キ調書ヲ以テ證據トシテ或ハ人ノ首ヲ斬リ、或ハ人ノ自由ヲ拘束スルト云フガ如キコトヲスルト云フコトハ、以テノ外ノコトデアラウト存ジマス、ツレデアリマスカラシテ是ハ決シテ裁判上證據トスベキモノニ非ザルノミナラズ、原告官タル者ガ勝手ニ作ルモノデアリマスカラ、ツレヲ以テ被告タル者ノ不利益ノ證據ニスルト云フコトハ、又道理ノ上ニ於テモ許サザルトコロノコトデアラルト存ジマス、ツレ故ニ此聽取書ノ如キモノハ決シテ之ヲ證據トスルコトハ出來ナイ、又之ヲ一件記錄ニ添附スルト、之ヲ見テ判事ガ其ノ心ヲ動カスノ虞ガアリマスカラ、ツレモ禁ズルヤウニシタイト云フノガ本案ノ趣意デゴザイマス、終リニ申上ゲマスコトハ、此二法案トモ決シテ私が本年新規ニ出シタコロノモノデハナイノデアリマス、是ハ第三十一議會ニ於テ高木益太郎君等ヨリ提出サレタ犯罪搜查ニ關スル法律案ト云フモノ、中ニ含マデ居ルノデアリマス、其當時ハ議了ニ至ラナカッタノデアリマスカラ、殊ニ今日痛切ニ必要ヲ感ズルガタメニ、私共率先シテ之ヲ提出シタ次第デアリマス、滿場ノ諸君何卒速ニ御贊成アラムコトヲ望ミマス（拍手起ル）（贊成々々ト呼ブ者アリ）

○中村啓次郎君 日程第十、第十一ハ一括シテ議題トナシテ居リマスガ、是ハ議長指名ノ委員ニ付託スルノ動議ハアリマセヌカ

○議長（奥繁三郎君） 日程第十第十一ハ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フ中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナイト認メマス、中村君ノ動議ノ通り決定致シマシタ。日程第十二、織物消費稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス。——小林源藏君

第十二 織物消費稅法中改正法律案(小林源藏君外 第一讀會 四名提出)

織物消費稅法中改正法律案

織物消費稅法中左ノ通改正ス

第十三條ノ二 織物ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル者ニ依リ組織セラレタル組合ニ對シ政府ハ徵稅上必要ナル設備ヲ爲シ又ハ徵稅事務ノ補助ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ組合ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該組合ノ取扱ヒタル織物ニ對シ賦課シタル稅額百分ノ二ニ相當スル金額ヲ交付ス

第十四條中「前條ヲ」第十三條ニ改ム

附則

本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔小林源藏君登壇〕

○小林源藏君 諸君、私ハ茲ニ簡單ニ法案提出ノ理由ヲ説明致シマス、此案ト殆ド同一ナルトコロノ案ガ第二十一議會ニ於キマシテ、黨派ノ異同ヲ問ハズ、本院ニ於テ大多數ヲ以テ通過致シマシタガ、不幸ニシテ貴族院ニ於テ否決セラレタルトコロノ案デゴザイマス、御承知ノ如ク織物消費稅ノ徵收ノ有様ガ、極メテ複雑煩瑣デアリマシテ、其織物消費稅ヲ圓滿ニ、簡單ニ、敏捷ニ、且經濟的ニ徵收セント欲スルニハ、先以テ織物製造ヲ致シテ居ルトコロノ組合若クハ織物販賣致シテ居ル組合ノ補助ヲ要求スルトコロノモノデアリマス、現ニ織物産地ノ如何ナル場所ニ於キマシテモ、織物消費稅ヲ徵收スル場合ニ當リマシテモ、其検査場ノ設備若クハ事務等ニ付テ、組合員ノ參與ヲナシツ、アルノデアリマス、京都ノ西陣ニ於ケル織物消費稅徵收ノ有様等ヲ見マスルト、直ニ分ルノデアリマスガ、全ク組合ガ事務所ヲ設ケテ徵稅官吏ニ其事務所ヲ提供シテ、而シテ徵稅ノ目的ヲ完ウセシメテ居ルノデアリマス、獨リ西陣バカリデナク、苟モ織物ノ稍、大キク産出スル地方ニ參テ見マスレバ、必ずヤ其検査ニ要スル設備ヲ提供シ、若クハ事務ノ一部ヲ手傳ヒツ、アルノデアリマス、而シテ組合員其モノガ政府ノ徵稅ヲシテ便宜ナラシムルガ爲メニ多額ノ費用ヲ負擔シツ、アル現狀デアリマス、二十一議會混亂ノ際不幸ニシテ貴族院ノ諸公ニ、此實情ガ徹底セズシテ否決セラレ、ニ至リマシタノハ、甚ダ遺憾トスル所デアリマス、曩ニ三十一議會ニ提出致シタル所ノ案ナルモノハ、斯ノ如ク組合ヲシテ設備ヲ爲サシムル必要ガアル、又現ニ組合ガ設備ヲ爲シツ、アル、又検査ノ補助ヲ爲サタメニ幾分ノ費用ヲ支出シテ居ル以上ニハ、ツレニ對スル交付金ヲ與フルノガ適切デアルトシテ百分ノ一ノ徵收シタル稅額ノ百分ノ一ノ額ヲ交付スルト云フ案デアリマシタガ、餘リニ少額デアルト思ヒマス、又事實ニ適合シナイト思ヒマシテ、此度百分ノ一ト改メタノデアリマス、目下經濟界不況デアリマシテ、殊ニ全國ニ於ケル織物業ハ殆ド不況ノ絶頂ニ達シテ、今ヤ殆ド全滅セントスル有様ニナツテ居リマス、國家費用多端ノ際、昨年

三十一議會ニ於テ各政黨ヨリ提出セラレタル所ノ織物消費稅ノ輕減等ハ稍覺東ナキ此時デアリマス、多大ナル利益ヲ織物業者ニ與ヘルト云フコトハ或ハ困難デアルカモ知レマセヌガ、幾分ナリトモ彼等ノ負擔ヲ輕減セシメテ、此不況ノ際ニ於テ幾ラカノ生氣ヲ出サシムルノモ一策デアルト思フ次第デアリマス、諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼ブ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 中村君ノ動議、議長指名九名ノ委員ニ付託サル、ト云フノ發議ニハ、御異議ハナイヤウデゴザイマスカラ、中村君發議ノ通り議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマス、日程第十三、市制中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス。——小出五郎君

第十三 市制中改正法律案(小出五郎君外 第一讀會ノ續(委員長) 一名提出)

〔小出五郎君登壇〕

○小出五郎君 諸君、市制中改正法律案竝ニ町村制中改正法律案ニ付キマシテノ委員會ノ經過、竝ニ結果ニ付テ報告ヲ致シマス、委員會ニ於テハ先ツ提出者ヨリ提出ノ理由ヲ詳細ニ説明致シマシタ、之ニ對シ種々質問答辯ガアリマシタ、尙ホ政府當局ニ向ヒマシテ本案ニ對スル所見ヲ聽取ルコトニ致シマシタノデアリマス、内務省所管ノ政府委員ヨリ詳細ナル意見ガゴザイマシタ、其要點ハ本案ノ救濟セントスル所ノ趣旨ハ贊成デアルト云フコトデ、此點ニ付テハ敢テ異議ハナイト云フコトデアリマシタ、併ナガラ之ヲ市町村制中ニ規定スベキモノデアルカ、或ハ他ニ適當ナル方法ガアリハセヌカ、此點ニ對シテハ尙ホ研究ノ餘地ガアルト云フコトデアリマシタ、委員會中ヨリ此點ニ付テハ既ニ三十一議會ニ於テモ同様ノ政府ノ意見デアリマシタガ、適當ナル成案ガアリヤ否ヤト云フ質問ヲ致シマシタ時ニ、政府ハ唯今ノ所デハ適當ナル成案ナシト云フ趣旨デアリマシタ、併ナガラ是ハ特別ノ事業法ニテモ讓ツタナラバ、或ハ適當デハナイカト云フ意味ノ御意見モアツタノデアリマス、委員會ハ更ニ逡巡省ノ政府委員ニ對シテ電氣事業法中ニ斯ノ如キ規定ヲ設ケル趣旨アリヤ否ヤト云フコトヲ確メタイノデアリマス、所ガ逡巡省所屬ノ政府委員ハ、電氣事業法中ニ斯ル改正ヲ爲スノ意思ナシト云フ答辯デアリマシタ、尤モ電氣事業ニ付テハ本案ト救濟セントスルガ如キ場合ニハ、法律規則ノ命ズルコトデハゴザイマセヌケレドモ、取扱上先以テ既設事業經營者ニ向テ協議ヲ爲サシメテ、協議ガ整ツタ後デナケレバ新ニ市町村ニ對スル許可ヲセヌト云フ方針ヲ執ツテ居ルカラ差支ナイヤウナ意見デアリマシタ、委員會中ニハ此點ニ付テハ既ニ個人事業ガアル場合ニ當ツテ、町村ニ同一ノ事業ヲ許スト云フコトハ、弊害ガアルト云フコトヲ當局者モ認メテ居ル、何等法規ニ依ラズシテ取扱上先以テ話合ヲ付ケテ、然後ニ申請セズンバ許可ヲセヌト云フコトニナツテ居ル以上ハ、寧ろ法律ヲ明カニシテ置イタ方が宜イデハナイカ、若モ今日ノ當局者ノ通りニ意見ガ何時モ一貫シテ居レバ宜シイガ、當局ノ意見方針ガ變ツタナラバ、此取扱振リ又變更ヲスルモノデアアルマイカト云フ點ニ懸念ガアルト云フ御意見モアリマシタ、尙ホ現在ノ儘ノ取扱振リトシテハ、若シモ協議ガ整ハナカッタ場合ニハ、遂ニ適當ナル經營者ニ經營ヲ爲サシムルコトヲ得ズシテ了ル憂ガアリハセヌカ、斯様ナ質問ガアリマシタガ、其點ニ對シテハ政府ハ當局ノ行政行爲ヲ信賴シテ貫ヒタイト云フヤウナ趣意デアリマシタ、要スルニ慎重

ニ審議致シマシタ結果、本案ハ原案ノ通り本會議ニ於テ可決セラル、コトガ至當ナルト云フコトニ、全會一致ヲ以テ決定致シマシタ、右報告致シマス

○中村啓次郎君 唯今議題ニナリマシタル兩案ハ、何レモ議會ヲ省略シ、直チニ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル
○議長(奥繁三郎君) 日程第十四ハ同一委員長デゴザイマスカラ、便宜上同時ニ報告ヲ許シマシタガ、尙中村君ノ發議モアリマスルカラ 日程第三十四ヲ一括シテ採決致シマス

市制中改正法律案(小出五郎君外一名提出) 確定議
町村制中改正法律案(小出五郎君外一名提出) 確定議

○議長(奥繁三郎君) 中村君發議通リ二議會三議會ヲ省略シ委員長報告通リ可決確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル
○議長(奥繁三郎君) 異議ナキモノト認メマス、此兩案共委員長報告通リ決定致シマシタ——日程第十五、航空事業國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——兒玉亮太郎君

第十五 航空事業國庫補助ニ關スル建議案(兒玉亮太郎君外三名提出) 委員長報告

〔兒玉亮太郎君登壇〕
○兒玉亮太郎君 航空事業國庫補助ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ、極メテ簡單ニ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテ詳細ノ質問應答モアリマシタ、十分ノ審議ヲ遂ゲマシテ結局委員會ハ全會一致ヲ以テ本案可決致シマシタ、尙一言附加ヘテ置キマスガ、政府ノ方ヨリハ陸軍次官ガ出席シマシテ本案ノ如キハ時期最モ宜シキヲ得タモノデアルカラ、此成立ヲ希望スルコト云フ意味ニ於テ本案ノ精神ニ賛成ヲ表シマシタ、此段併セテ御報告致シマス

○小山完吾君 本案ニ關聯致シテ軍事當局者、殊ニ陸軍大臣ニ簡單ナル質問ヲ此席ヨリ致シタイノデアリマス、若シ豫算會議ノ御都合ガ付クナラバ御出席ヲ願ヒタイ

○議長(奥繁三郎君) 陸軍大臣ハ今豫算委員會ニ出席中デゴザイマス
○小山完吾君 ソレハ承知デアリマスガ、都合ガ付キマセヌカ
〔次官ガ居ル〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 今照會シテ見マセウ
○小山完吾君 是ハ簡單デアルケレドモ、少シ重大デアルカラ成ルベク陸軍大臣ノ出席ヲ求メラレタイ

○議長(奥繁三郎君) 今陸軍大臣ニ照會シテ見マス、其時間モ多少アリマスルカラ、次ノ日程ニ移リマス
○中村啓次郎君 此場合日程ノ順序ヲ變更シマシテ、日程第二十四ヲ議題トセラレンコトヲ望ミマス
〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 中村君ヨリ日程變更ノ動議ガ出マシタ、御贊成モアルヤウデゴザイマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル
○議長(奥繁三郎君) 滿場御贊成ト認メマシテ日程ヲ變更致シマス、日程第二十四、米價調節及蠶絲業救済ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス 齋藤注次君——床次竹二郎君

第二十四 米價調節及蠶絲業救済ニ關スル建議案(元田肇君外四名提出)

米價調節及蠶絲業救済ニ關スル建議案
米價調節及蠶絲業救済ニ關スル建議案

米穀及蠶絲ハ我カ國產ノ一大宗ナリ然ルニ近年農村ノ疲弊困憊漸ク甚シク負債堆積シテ生活ノ資ニ窮シ納稅ノ義務モ果ス能ハスシテ其ノ郷土ヲ離散スルモノ多クナリトス殊ニ今春以來米價ノ低落ハ漸次其ノ歩ヲ加ヘテ今猶窮極スル所ヲ知ラス地方農村ノ慘狀實ニ言語ニ絶スルモノアリ若シ之ヲ放任スルニ於テハ農民ヲシテ將來再起シ能ハサルノ悲境ニ陷ラシメ途ニ國家ノ根幹ハ茲ニ枯渴スルニ至ルヘシ試ニ昨大正二年全國ノ米產實收額ト本年第二回收穫豫想額トヲ比較スレハ本年ハ優ニ六百四十九萬二千石ノ增收ナルモ其ノ價格低落ノ結果ハ差引一億五千七百四十四萬六千圓ノ減少ヲ示セリ是レ即チ全國農家ノ損失ニ外ナラス而シテ斯ノ如ク輒近稀有ナル米價ノ低落ハ其ノ原因多クアリト雖現政府財政策ノ影響ト認ムヘキ點亦少カラス想フニ農村ノ困憊ハ獨リ農民ノ窮迫ニ止マラス其ノ購買力ノ減縮ハ忽ニシテ商工業ノ不振ヲ招致シ延テ一般經濟界ニ深甚ナル打撃ヲ與フルハ必然ノ勢ナリ左レハ米價ノ調節ヲ計リ農民ヲシテ其ノ堵ニ安セシムルハ實ニ國家ノ基礎ヲ確立スルノ大計ト謂フヘシ又蠶絲業ハ時局ノ影響ヲ受ケ絲價暴落シテ營業者ハ殆ト破産ニ瀕セリ政府カ試ミタル多少ノ應急手段ハ殆ト其ノ效果ヲ見ス全國百五十萬ノ養蠶家、三千五百ノ製絲業者ニ對シ其ノ救済ノ途ヲ講スルニアラスハ國家ノ損失測リ知ルヘカサルモノアラム彼ノ歐洲交戰諸國カ國歩艱難、莫大ノ軍事費ヲ要スル場合ニ於テ尙其ノ生産業ノ保護救済ノ爲ニ資金ヲ割キ有力ナル手段ヲ講シツツアルカ如キ宜ク我カ朝野ノ鑑ト爲スヘキナリ
故ニ本院ハ政府カ速ニ適當ナル方法ヲ講シ之カ救済ヲ實行セムコトヲ望ム
右建議ス

(床次竹二郎君登壇)
(拍手起ル)

○床次竹二郎君 此建議案提出ノ理由ヲ説明致シマス、我國ノ人口ノ中凡ソ七八割ヲ占メテ居ル農家ノ經濟ノ安固ヲ圖ルト云フコトハ、所謂我立國ノ大本ヲ固ムル所以デアリマス、又米價ノ高低ハ我國ノ經濟ノ諸方面ニ重大ナル關係ヲ有ツテ居ルノデアリマス、殊ニ昨今此米價ノ下落ハ農家ノ經濟ニ少ナカラサル困難ヲ來シテ居リマスコトデ、今日米價調節ノ議論ハ全國ニ唱ヘラレテ居ル次第デアリマス、是ガ調節ノ方法ヲ講ズルコトハ今日ノ急務ト存シマス、又蠶絲業ハ諸君ノ御承知ノ如ク我國ノ輸出品中

最も重要ナルモノデアル、是ガ盛衰ハ國家ノ海外貿易ノ上ニ重大ナル關係アルコトハ申
スマデモゴザイマセヌ、此度ノ時局ノ影響ヲ受ケテ、極メテ甚ダシキ打撃ヲ受ケ苦シテ居
ルコトハ、是亦諸君御承知ノ通りデアリマス、是ガ救済ノ途ヲ講ズルコトハ、獨リ營業者
ノミナラズ、我國ノ經濟ノ上ニ最も必要ナル次第ト考ヘル、是レ本案ヲ提出致シマシテ
政府當局者ニ於テ考慮ヲ廻ラシ、相當ノ施設アラシムコトヲ希望スル次第デアリマス、委
細ノコトハ本案賛成者ノ齋藤君ヨリ述べラレルコトニ承ツテ居リマス、私ハ説明ハ是
ニ止マヌ、ドウゾ滿場ノ御賛成ヲ希望致シマス

〔拍手起リ〕又〔贊成〕ト呼フ者アリ

〔齋藤圭次君登壇〕

〔拍手起リ〕

○齋藤圭次君 米價調節及蠶絲業救濟ニ關スル建議案、提出ノ理由ヲ尙敷衍ヲ申
スコトニ致シマス〔贊成デスカ〕ト呼フ者アリ 贊成者トシテ敷衍ヲ致シマス、唯今武富
君ヨリ〔笑聲起ル〕床次君ヨリ大體ヲ説明ヲ申上ゲタゴザイマスガ、私尙之ヲ敷衍ヲ
致シタイノデアリマス、デ米價調節ハ過日小西君ヨリシテ政府ニ質問ヲ致サレマシタガ、
未ダ其答辯モゴザイマセヌ、而シテ其質問ノ説明ニ於テ小西君ハ能ク時局ヲ救済スベク
詳細ニ論ゼラレマシテゴザイマス、私ハ成ベク重複ノ事ハ申上ゲヌ積リデゴザイマス、
小西君ノ申サレタルガ如クニ、此米價調節ハ農業政策又社會政策、一般ノ經濟政策
ニモ非常ニ影響アルコトハ論ヲ俟タヌコトデアリマシテ、殊ニ蠶絲業ト關聯ヲ致シマシ
テ、此二ツノモノハ我國ノ農産ノ二大宗デゴザイマシテ、何レモ重要ナルモノニ屬スルノデ
ゴザイマス、然ル所ガ不幸ニシテ此二ツノ重要物産ハ、何レモ今日非常ナル悲境ニ陷
リ、近來未曾有ナル暴落ノ悲境ニ沈淪シテ居ルデアリマス、是ガ爲ニ農家ハ非常ナ
ル慘狀ニ陷ツタデアリマス、一體農家ハ近頃米價ガ騰貴シツ、アルニモ拘ラズ、免角ニ農
村ハ疲弊ニ陥リ困憊ニ傾イテ、農民ハ其郷土ヲ去ルト云フノ傾向デアッタデアリマス、
是ハモウ議會ニ於テモ諸君ガ度々論ゼラレタルコトデアル、然ルニ昨年來一層此米價下
落ノ結果ト致シテ、農村ハ困憊ノ其度ヲ重ネマシテ非常ナル困難ニ陥ラントシテ居タ、
而シテ是ガ更ニ本年ニ至リマシテ一層其甚シキヲ加ヘタデアリマス、昨年ハ未ダ救済ノ
説モ出ナカッタデアリマス、然ルニ本年春以來非常ナル此打撃ヲ受ケタノデゴザイマシテ、
ソレガ爲ニ農村ハ實ニ慘憺タルモノデアリマス、殊ニ私ハ此席ニ於テ申上ゲタイト思フ
コトハ、此農家ガ非常ニ困難ナル境遇ニアルニモ拘ラズ、農家ノ負擔ハ、農家ノ出資
スベキモノハ實ニ日ニ多クナル傾向ヲ持ツテ居ルデアル、是ガ今日ニ於テ根本カラ
ノ救済ヲ要スルノデアリマス、是ハ既ニ當局ト雖モ餘程注意ヲ望マナケレバナラヌト
思フ、要スルニ公課ノ定ツテ居ルモノハ無論デアリマスガ、其外總テ縣稅トカ村稅トカ云フ
モノ、増加スルト同時ニ、公共の問題モ——支出モ段々ト増加シテ參リマス、デ是ハ社
會ノ發達進歩ニ依ツテ已ムヲ得ザルトスルモ、更ニ其外ノ慈善の出費、慈善事業等ニ
付テノ出費ガ日一日ト増加ヲ致シ、サウシテ寄附金ノ強請ヲセラル、如キ、或ハ又種々
ナル共同の問題ニ付テ勸誘等ヲ受ケルガ如キ、實ニ農家ハ其煩ニ堪ヘザルガ如キノ有
様ニ至ツテ居ルノデ、曾テ議院ニ於テ斯ノ如キ勸誘ノ事ヲ地方ノ行政官ガ爲スベカラズ
ト云フ建議ヲ爲シタコトモ、今ハ又是等ノ事ガ甚ダ繁シクアルガ如クノ感ヲ爲スノデア

リマス、是等ハ實ニ今日農村ノ困憊ニ至ルトコロノ又一ツノ原因デアアルデアリマス、故
ニ今日ニ於テ此農村ノ困難ヲ防ガウトスルニハ、少ナクモ米價ヲシテ相當ノ價格ヲ維持
セシメナケレバ、此恢復ヲ圖ルコトニハ出來ナイデアリマス、曩ニ本年ノ春、即チ第二十
一議會ノ當時、時ノ政府ハ是等農村ニ對シテ米價ノ價格ヲ維持セシムルガ爲ニ、十八
圓前後ノ價格ヲ維持セシムルト云フコトヲ明言シタコトガゴザイマシタ、又農村ノ困憊ニ
付テハ種々ノ方策ヲ講ズルコトヲ明言シタコトガゴザイマス、是ハ即チ地租條例改正委員
會ニ於テ政府ガ是等ノ條項ヲ明言シテ居ルデアリマス、斯クシテ農村ノ困憊ヲ防ガウ
ト云フコトノ方針ハ示サレテ居タノデゴザイマシタ、然レドモ其後米價ノ低落ハ益々其度
ヲ加ヘテ參リマシテ、今日ハ實ニ其停止スル所ヲ知ラナイデアリマス、今ノ有様デアリマス
レバ農業ト云フコトハ從來ニ於テハ利益モ少ナイケレドモ、隨ツテ著實ナル安全ナル職業
ト社會ハ認メテ居ツテ、之ニ從事スル人モ派手ナラザルモ其業務ノ安全ナル安心シテ、
其農事ニ從事シテ居タモノガ、今ハ農業ハ恰モ投機的ノ危險事業ト同一視サル、ガ
如キノ有様ニ至ツタデアリマス、實ニ本年ノ如キ此低落ニ於テハ肥料ノ料モ之ヲ支拂フコト
が出來ナイ、況ヤ其他ノ生活費ヲ補フニ足ラズト云フガ如キノ實況ニ至ツテ居ルデアリマ
スガ故ニ、若シ之ヲ今日ノ儘ニ存シマスレバ、國民ノ大多數ノ——大多數ハナイ、國
民全般ニ此生活資料ヲ供給スルトコロノ農民ト云フモノハ、遂ニ其業ヲ抛棄セナケレバ
ナラヌコトニ至ルトデアリマス、果シテ然レバ其結果ト致シテハ、多數人民——國民ハ此生
活ヲ爲スベキ食料ノ安固ヲ期スルコトが出來ナイデアッテ、實ニ是ハ由々シキ問題デア
ラウト思ヒマス、聞ク所ニ依テモ諸外國ニ於テハ國民ノ生活資料タル麵麴ノ費用ヲ高
下セシメザルベク、政事家ハ常ニ之ニ苦心ヲ致シ種々ナル方法ヲ講ジテ、此麵麴ノ價格
ヲ變ゼシメザルベク攻究シテ居ルノガ、是普通デアリマス、然ルニ我國ニ於テハ不幸ニシ
テ此國民ノ常食タルベクトコロノ食物ガ、常ニ其價格ノ變動ヲ致シテ居ルト云フコトハ、
實ニ我國ノ一大憂ナノデゴザイマシテ、他國ニ其例ヲ見ナイノデアル、我國ハ今ヤ經濟ハ
世界ニ共通ヲ致シテ居ル、併ナガラ食物ハ依然トシテ局限サレテ居ツテ、他國ト有無相違
ズルノ自由ヲ得ルコトが出來ナイノデアル、我ノ食物ハ東洋一部ニ限ラレテ居ルデアル、
故ニ此食物ハ常ニ經濟ノ共通ニモ拘ラズ、此食物ハ其分量ノ少ニシテ其局限セラレテ
居ルガ爲メニ、相場ニ於テ高低サレル、自然ノ力ニ於テ高低ヲ受ケル、政策上ニ於テ又
影響ヲ受ケル、甚シキハ少シク財產ノアルモノガ協同シテ所謂買占トカ若クハ思惑ト云
フ買賣ヲ爲セバ、此國民ノ食物ガ是等ノ徒ノ爲ニ自由ニセラル、ト云フノ不幸ハ、實ニ
是ハ國家ノ大患デアルト信ズルノデゴザイマス、故ニ此農民ノ——獨リ農民ノ疾苦ヲ
救フノミナラズ、國ノ基礎ヲ立ツルト云フ上ニ鑑ミマシタナラバ、是非トモ此米價ト云フモ
ノハ今日ノ如ク變動スベカラザル地位ニ置カナケレバナラヌト云フコトヲ先以テ原則ト見
ナケレバナラヌ、而シテ斯クシテ初メテ農家モ安固ナル職業トシテ之ヲ守ルコトが出來ルノ
デアリマシテ、是ハ大體ニ於テ原則デアリマス、而シテ今ヤ全ク是等ノ秩序ノ恆久的ノ
米價維持ヨリモ、尙且今日且タニ追米價ノ下落ヲ止メルトコロノ方策ヲ講ジナケレバナ
ラヌデアアル、即チ應急策ヲ今日ニ於テハ是非トモ講ゼザルヲ得ナイ境遇ニ至ツタデアリ
マス、試ニ本年我ガ農民ガ米價下落ノタメニ、如何ナル結果ヲ來シテ居ルカト申シマスレ
バ、之ヲ昨年ノ十一月一日ノ全國ノ各取引所ノ當限相場ニ於テ、昨年ノ產米實收高

ヲ昨年十一月一日ノ取引所ノ相場ニ依ッテ之ヲ換算致シマス、即チ價格ニ致シテ見マス、昨年ハ米ノ代金ハ九億八千五百三十八萬八千圓ト云フモノニナッテ居ル、之ト同一ノ筆法本年第二回收穫豫想額ヲ直打ニ換算致シマス、七億二千七百九十四萬二千圓ニ當リマス、而シテ本年ノ收穫豫想高ハ如何ニト申シマスレバ、是ハ五千六百七十四萬七千七百石アル、而シテ昨年ノ全國ノ產米實收額ハト申セバ、五千二百十五萬五千石アル、其差ハ六百四十九萬二千石ト云フモノガ本年ニ於テハ增收サレタノデアル、即チ六百二十九萬二千石ハ增收サレテ居ルケレドモ、此米價ノ價格低落ノ結果ト致シマシテハ、差引キマシテ二億五千七百四十四萬六千圓ト云フモノガ價格ニ於テ減少シテ居ルノデアル、此二億五千七百四十四萬六千圓ナル減少ヲ以テ、我國ノ農家ノ戶數五百四十二萬八千五百一十一戶ニ割當テ、見マスレバ、一戸平均ニ於テ約四十七圓三十錢ニ該當スルコロノモノデアル、是ハ明カニ收穫ハ餘計ニアリマシテモ、昨年ヨリモ價格ノ低落ノタメニ、此農家ノ平均シテ四十七圓餘ノ損害アリマシテ受ケツ、居ルトコロノ收入減少デゴザイマス、實ニ是デゴザイマスガ故ニ、農家ニ彩色アリ、農村ノ困憊ヲ來スト云フノハ當然ノ結果ト思フノデゴザイマス、而シテ抑、此下落ト云フモノ、原因ハ何處ニ在ルカト見マスレバ、是ハ幾多アルヤウデアリマス、昨日小西君カラモ御話ガアツタヤウニゴザイマスガ、私ノ見ル所ト大概ハ同ジデゴザイマスガ、又少シク違フ點モアルヤウニ存ジマスガ、私ノ見ル所ニ於テモ此第一ニハ前年ノ古米ノ持越高ト云フノガ多イト云フコトガ一ツデアリマス、即チ之ヲ稱シテ食延バシトカ申スデアリマス、即チ米ガ尙高クナルデアラウアラウト云フノ豫想ヨリ、外國米ヲ殊更ニ買ッテ自カラノ米ハ之ヲ食セシテ食延バシヲ致シタト云フコトガ一ツノ原因デアル、是ハ左様デアラウト思フ、ソレカラ本年ノ作柄ガ又良好ニ致シマシテ豐作デアッタト云フコトモ亦一ツデアリマセウ、併シ第三ノ原因トシテハ今日ノ通貨ガ縮小シテ、此世ノ中ノ通貨ガ非常ニ少數ニナッタメニ、減縮サレタメニ、之ガタメニ金融ノ逼迫ヲ來シ、又物價ガ益々下落スルコト云フコトハ、是ハ一大原因デアルト信ズルデアリマス、即チ是ハ現政府ガ成立以來所謂消極政策ヲ執ッテ、非常ニ通貨ノ縮小ヲ致サレタコロノ結果、玆ニ現ハレテ來タモノト思フデアリマス、ソレカラモウ一ツハ歐洲戰亂ノ影響デアル、是ハ無論影響シタコトデアルガ、併シ政府者ガ言フガ如ク何モカモ歐洲戰亂ノ影響デアルトハ言フコトガ出來ナイト思フ、即チ米價ノ低落ノ如キハ吾ガ見ル所ニ依レバ通貨縮小ガ主因デアル、是ガ原因デアル、サウシテ歐洲戰亂ノ影響ト云フモノハ、是ハ唯其下落ヲ早メタニ過ギナイノデアル、如何ニ歐洲戰亂ナシト雖モ斯ノ如ク通貨ノ縮小致シマスレバ、米價ノ下落スルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カナ譯デアル、然ルニ幸ニ此歐洲戰亂ガ起ッタメニ、之ニカコッテ歐洲戰亂ノ影響ト申シマスレドモ、是ハ唯早メタケデアル、何時カ此通貨縮小ノ結果ハ米價ノ暴落ヲ來スト云フコトハ明カナルモノデアルト思フデアリマス、即チ之ヲ要スルニ通貨ノ縮小消極政策ト云フモノガ、米價ノ低落ヲ來シタモノデアルノデゴザイマスガ故ニ、是ハ宜シク考ヘナケレバナラヌコト、思フデアリマス、抑、農家ノ經濟ノ良好ナラザル結果ハ、富裕ナラザル結果ハ、其購買力ヲ減シテ商工業ノ不振ヲ招クト云フコトハ、是ハ今更言フ必要モナイノデアル、然レドモ私聞ク所ニ依リマスレバ、當局者ハ農家ノ經濟ト商工業ノ經濟ト其關係ガ違フト云フノ

感想ヲ持タルト云フコトデアル、即チ農家ノ經濟ノ本タル米價ノ下落ハ、決シテ商工業ノ不振ヲ起スモノデナイト云フガ如キ感想ヲ持タルテ居ルト云フコトヲ、此間モ聞イタノデアリマス、果シテ斯ノ如キ感想ヲ持ッテ居ラル、トスレバ、實ニ是ハ大ナル誤リデアッテ、實ニ是ハ驚イタル說ト言ハナケレバナラヌ、併シ是ハ敢テ無責任ノ言デハナイ、實ニ農政研究會等ニ於テ明カニ責任者ハ其事ヲ言ハレテ居ル、當局者ガ免角ニ米價ノ下落ト商工業ノ不振ノ關係ヲ別物ノ如ク考ヘテ居ラル、ガ、實ニ遺憾デアルト申サレテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ是ハ實ニ大ナル間違デアッテ、此國民大多數ノ農家ノ經濟ガ良好ナラザレバ隨ッテ購買力ガナシ、而シテ商工業者ノ不振萎靡ト云フモノハ、是ハ自然ニ來ルモノデアル、而シテ經濟界一般ニ打撃ヲ來スト云フコトモ明カナルコトデアルノデゴザイマス、故ニ今日ノ場合ニ於テ、此米價低落ヲ救済スルコト云フコトハ、獨リ農民ノ救済デハナイ、實ニ國家經濟界ヲ救済スルノヤハリ結果ヲ來ストデアリマス、今ヤ米價ノ低落其モノハ遂ニ原因ハ結果ヲ生ジ、結果ハ又原因ヲ生ズルト云フ小西君ノ全ク言ハレルガ如ク、相俟チ相繋ガッテ、サウシテ今日國家ノ不況不振ト云フモノヲ來シテ居ルノデゴザイマスガ故ニ、此點ニ著眼セラル、ナラバ、徒ラニ商業不振デアル、經濟界不振デアルト云フ如キコトヲ唱ヘ、其根本ニ邁ッテ米價低落ノ調節ト云フコトヲ、片時モ速カニ之ヲ爲サズンバ、此經濟界ノ救済ト云フモノヲ遂ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス、實ニ是ハ我國ノ基礎タルコトヲ私ハ深ク信ズル者デゴザイマスガ故ニ、政府ハ相當ナル方策ヲ講マテ、此應急救済ヲセラレムコトヲ望ムデアリマス、是即チ米價調節ニ對スル理由デアリマス、ソレカラモウ一ツハ蠶業ノ方——蠶ノ方デアリマス、生絲デアリマス、是ハ明カニ歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケタモノデアリマス、歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケタモノハ、生絲ニ於テハ是ハ全ク著シク見ル、私モ是ハ同論デアリマス、左レバ此生絲ノ暴落ハ著シク我蠶業界ノ悲況ヲ招キマシタルガ爲ニ、我衆議院ハ此慘狀ヲ救済セバ、去ル九月ニ於テ開カレタル所ノ二十四議會、是ハ軍國議會デアル、此軍國議會ニ於テ前例少ナキ所ノ蠶業救済案ナルモノヲ提出サレタノデアリマス、即チ蠶業ノ生絲救済案ト云フモノヲ建議ヲ本院ガ提出サレタノデアル、而シテ政府ハ之ヲ採用ヲ致シテ幸ニモ採用ヲ致シテ、免角ニ重要輸出物救済資金ト稱シマシテ、八百萬圓ノ金ヲ支出セラレタコトハ事實デアアル、此點ニ於テ政府ハ頗ル衆議院ノ免角意ヲ容レタト申シテ宜シ、然レドモ悲イカナ其八百萬圓ナルモノハ獨リ生絲バカリデハナイ、名稱ノ如ク重要輸出物ニ對シテ與タモノデアリマシテ、而シテ之ヲ支出スル方法ニ於テハ如何ニモザノシキ取扱順序ヲ定メマシタ、一例ヲ申上レバ此金ヲ借ルニハ不動產ノ擔保ガナケレバナラヌ、或ハ又二十人ノ組合ヲ設ケナケレバ貸スコトハナラヌ、蠶業組合法ニ依ル組合ニアラザレバ貸スコトハナラヌト云フガ如キ非常ナ細則ヲ設ケテ之ヲ貸スコトニ致シタノデアリマス、ソレガ爲ニ蠶絲業者ト云フ者ハ斯様ナルモノニ向ッテ借ルベキ資格ヲ有タモノハナイノデアル、而シテ唯此借リ得ラレタモノハ時局ニ直接關係セザルコロノモノガ、養蠶室ノ改良ヲナストカ、屋根替ヲナストカ云フヤウナコト漸クニシテ之ヲ借入レタト云フコトデアリマス、蠶業生絲ヲ輸出スル即チ製絲家ナルモノニ向ッテハ、寸毫ノ價值モナカッタト云フコトハ事實ニ於テ之ヲ證明シテ居ルノデアリマス、故ニ蠶絲業者ハ此事ヲ以テ満足致サズシテカラニ、政府ニ向ッテ百方此上ノ救済策ヲ請求致シマスルコロガ大藏大臣ハ之ニ答ヘ

テ免二角八百萬圓ノ支出ヲ爲シテ居ル、救濟資金ヲ投シテ居ル、故ニ此八百萬圓ノ推移ヲ見届クルニアラザレバ、他ノ方法ヲ講ゼラレヌト申シテ居ルコトデゴザリマス、併ナガラ此八百萬圓ハ昨日カモ豫算委員會ニ於テ政府ヨリ提出セラレマシタ此八百萬圓ノ貸付明細表ヲ拜見致シマスルニ、未ダ八百萬圓ノ中甚ダ其用ヲ足シテ居ルモノハ少ナイノデアアル、而モ小サナ工業家ニ向ッテ貸付ケテ居ルモノガ多イデアアデ、製絲業者ノ如キハ未ダ是ガ恩澤ヲ被ツタコトハナイノデゴザリマス、然レバ衆議院ガ軍國議會ニモ拘ラズ、茲ニ建議シタルコトハナイノ趣意ハ、或ハ十中ノ一位ハ其目的ヲ達シタカモ知ランノデアアルカ、未ダ以テ其十中ノ八九ハ其目的ヲ達シテ居ラヌト見ナケレバナラス、否蠶絲業者ハ未ダ一點ノ恩澤ニモ與ッテ居ラヌト見ナケレバナラス結果ヲ生ジテ居ルノデアリマス、是レ茲ニ再ビ此救濟策ヲ申上ケルコトハ、次第ナクデアリマス、抑、今日生絲ガ現在ニ於ケル有様ハ如何デアアルカト之ヲ見マスレバ、今日マデニ——今日ニ於テ横濱ニ在荷シテ居リマスルコロノ生絲ハ約五百萬捆サウデアリマス、サウシテ今後本年内ニ製産スベキ見込ハ約二萬捆、尙明春五月ノ交、新ニ絲ノ出マスルマデノ製産高ガ約十萬捆デアル、ツマリ合計十七萬捆ト云フモノハ今日是レハ在ルモノ及ビ將來横濱ニ出テ來ルモノ及ビ製産スルモノデアアル、此ノ十七萬捆ハ今日ノ製絲家ガ背負ヒ込ンデ居ルコロノ荷物、之ヲマダ負フテ居ルコロノモノデアアル、此ノ損害ハドウナルカ、現在ノ價額ニ之ヲ對照シテ見レバ如何ニナルカト見マスレバ、十七萬捆ノ原料ハ繭代及ビ工賃ヲ定メマシテ、百斤ニ付テ約九百七十圓ニ當ッテ居ルサウニゴザリマス、サウシテ此ノ金ガ——此ノ元金ガ九千〇六十九萬五千圓ニナルノデアリマス、デ此ノ十七萬捆ヲ時價七百圓、今日ノ相場七百圓ニ賣却スルモノト致シマスレバ、此ノ賣却代金ハ六千五百四十五萬圓デアッテ、前申シタ此ノ元金ノ九千〇六十九萬五千圓ヨリ差引致シマスレバ、其ノ差額二千五百二十四萬五千圓ト云フモノハ、全ク今日負フテ居ルコロノ生絲ノ損害ニ屬スルモノデアアルノデゴザリマス、デ本年——是レハ現在在荷及ビ將來ノモノダケ、本年新ナル絲ガ出デマシテ以來、現今ニ至ルマデ賣却濟ニナツタ生絲ハ既ニ十五萬捆ニナルサウニゴザリマス、而シテ其損失高ハ幾ラニナルカト申シマスレバ、此ノ十五萬捆ノ中デ六萬捆ハ夏秋蠶繭ヲ以テ製絲シタモノデアアルカラ、損害ガナイト斯ウ見積ルサウデ、殘ッタ九萬捆ノ損失ガ一捆平均百五十圓五十錢ノ損失ト見ナケレバナラス、サウ致シマスルト九萬捆ニ對スル此ノ百五十圓五十錢ノ損失ハ其ノ合計ガ九百四十九萬五千圓トナルノデアリマス、即チ前ニ申シマシタ將來ニ屬スル損失ト、此ノ現在在荷受ケマシタコロノ損失トヲ合計致シマスレバ、二千四百七十四萬圓ハ此ノ生絲ニ於ケル損害ナノデゴザリマス、尙ホ其ノ他三層物ノ實行ガ中止シテ居ルモノガ二十萬捆ノ生絲對シテ約三百萬圓アルサウデゴザリマス、而シテ此ノ層物ト云フコトハ——層物ト云ヘバ誠ニ棄テルヤウナ詰ラヌヤウナモノ、ヤウニ見エマスガ、當業者ニ付テ見マスレバ是ハ實ニ必要ナルモノデアアル、何ゼナラバ此層物ノ價格ハ製絲業ノ金利益ヲ雜費ト云フモノハ、之ニ依ッテ支出セラハ實ニ必要缺クベカラザルモノデアアル、而シテ此物ハ何レニ賣リ捌ケルノデアアルカト云ヘバ、此層物ハ歐洲ノ一手販賣、歐羅巴ニアラザレバソレガ賣レナイノデアアル、今回ノ大戰亂ニ依ッテ此層物ハ少シモ賣ルコトガ出來ナイノデアアル、然レバ此一點ニ於テモ當業者ハ雜

費金利ト云フモノヲ產ミ出ス所ノ元手ヲ失ッテ居ルノデゴザリマス、殊ニ此層物ガ長ク維持保存シ得ラレモノデアレバマダシモノコトデアアルガ、此層物ナルモノハ脂肪分ノ含有多クシテ、到底長クヲ保存スルコトノ出來ナイモノデアアルト云フノデゴザリマス、故ニ、此三百萬圓ハ概シテ之ヲ損害ト見ナケレバナラスト云フコトニナルノデゴザリマス、實ニ是等ノコトヲ考ヘマスレバ、此蠶絲業ノ損害本年ノ打撃ト云フモノハ、實ニ驚クベキ所ノ結果ニナッテ居ルノデゴザリマス、抑、斯ノ如キ低落ヲ見ルニ至リマシタノハ、實ニ時局ノ打撃トハ申シナガラ、我國產ノ中外國貿易ニ於テ最モ主位ヲ占メテ居ルコロノ此蠶業ヲ、斯ク慘憺タル有様ニ陷ラスノハ實ニ遺憾ノ極デゴザリマス、然レバ當業者ハ之ニ向ッテ必死ノ運動ヲナシ、又之ニ關係スル銀行業者商業者モ非常ナル決心ヲ以テ此救濟ニ努メタニ違ヒナイ、然レドモ如何セン民間ノ力ニ於テハ充分ノ救濟ヲナシ得ラレルコトハ出來ナイノデアアル、唯ソレデモ能ク心ヲ合セ、能ク熱心ニ此救濟策ヲ講ジタルノ結果ハ幾分自衛策トシテ見ルベキモノガアツタコトヲ私共ハ喜ブモノデアリマス、其自衛策トハ何物デアアルカト申シマスレバ、此横濱賣込問屋ニ於テ非常ナル熱心ヲ以テヤツタコトデアリマス、ソレカラモウツハ製絲家ノ同盟的線業中止ノコトデアリマス、抑、生絲ノ元價ガ前申シマシタ通り九百七十圓ニ當ッテ居ルモノガ、本年横濱ニ於ケル最低價格ト云フモノハ六百八十圓マデニ落チタノデアリマス、其差額ニ二百九十圓ト云フ差ヲ生シタノデゴザリマス、殆ド三百圓、是ハ實ニ製絲家トシテ耐ヘ得ベカラザルモノデアアル、此ニ於テカ製絲業者ノ破産ハ勿論、之ニ資金ヲ投ジテ居ルコロノ取引銀行其他ノモノモ、勢ヒ共倒レバセザルヲ得ザル現況ニ至リマシタガ爲メニ、此時横濱賣込問屋ガ申合セテ、免二角生絲七百圓價格以下ノモノハ賣買ヲナスマイ、七百圓以下デアレバ賣買ヲナスマイトノ同盟ヲ致シタノデアリマス、是レ即チ横濱賣込問屋ノ非賣同盟デアリマス、此非賣同盟ノ結果七百圓ニハドウシテモ市價ヲ保ツト云フコトノ協議ガ整ツタノデアリマス、是ト同時ニ一方製絲家モ此慘狀ヲ忍ブニ堪ヘズシテ、各製絲家ハ此絲ヲ線ル所ノ業務ヲ中止ヲ致シテ、絲ヲ横濱ニ出スコトニ制限ヲ加ヘタノデアリマス、即チ線業中止ノ同盟ヲ是亦爲シタノデアリマス、此結果ト致シマシテ現在ニ於テハ免二角生絲ハ七百圓乃至七百十圓ヲ保ツテ居ルノデアリマス、明カニ此同盟此組織ガ二十圓カラノ價格ヲ維持スルコトニナツタト云フコトノ現況ニ至ッテ居ルノデゴザリマス、而シテ斯ノ如ク民間ノ自衛策ニシテ斯ノ如クデアアル、一度政府ガ力ヲ借シテ之ニ援助スルコトデアツタナラバ、適當ナル援助、相當ナル助力ヲナスニ於テハ、必ズ此市價ヲ恢復スルコトハ見得ラレルコト、思フノデゴザリマス、一體米國ノ機業地ガ絲ヲ要求シナイ、需用ガナイ、斯様ニ申スノハ皮相ノ觀ダト私共ハ聞イテ居リマス、米國ノ機業地ハ絲ハヤリ依然トシテ必要ナノデアルケレドモ、日本ガ慌テ、如何ニモ安賣ヲナスガ爲メニ、此絲ハ如何ニ下ルカモ分ラス、若シ安キ日本ノ絲ガ尙且ツ漸次低落スルモノデアレバ、其極度ニ於テ之ヲ買ハザレバ商業家ハ失敗ヲ招クコトハ明カデアアルガ故ニ、日本ノ絲ノ凡ソ低落ノ程度ヲ見デ此ニ買入ヲナサウト云フコトデ、皆躊躇シテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ全ク左様デアッテ、明カニ日本自ラガ安賣リヲシ過ギタ結果デアルト云フコトヲ認メラレノデアリマス、何ゼナラバ伊太利ノ如キハ昨年ニ於テ三萬五千苞ヲ送ッテ居タ國ガ——米國ニ向ッテ三萬五千苞ヲ送ッテ居タ國ガ、本年ハ八百苞シカ之ヲ送ッテ居ラナイ、然レニ日本ハ昨年ニ於テ二萬苞送ッタモ

ノガ、本年ハ既ニ業ニ二万苞モ送テ居ル、此價格ノ安キニモ拘ラズ、斯様ニ多クノ出荷ヲ致シマシメ爲メニ——輸出ヲ致シマシメ爲メニ、彼ハマダ安クナルデアラウ、マダ安クナルデアラウト云テ買入ヲ躊躇シテ居ルト云フコトハ、是ハ道理アルコト、思フノデアアル、殊ニ又横濱ニ於ケル生絲ノ取引ト云フモノハ、此歐洲戰亂ヲ利用シテ此戰亂ニ於ケル入電ヲ利用シテ、サウシテ我邦ノ生絲ヲシテ投機的ニ相場ヲ高下セシメタト云フコトハ是ハ明カデアリマス、是ハ取引所其者ガ惡イノデアリ、全ク此ニ出入スルトコロノ相場師ナルモノガ、此機ニ乘シテ外國電報ヲ利用シテ、針程ノコトヲ棒程ニ唱ヘテ、サウシテ此絲ヲ上ケ若クハ下ケ、サウシテ彼等ガ其前ニ寸效ヲ奏シテ、少シノ利益ヲ得シガ爲メニ、此生絲ニ向テ投機ヲ試ミタノデアアル、是ハ勿論取引所ヲ許シテ居ル以上ハ之ヲ許サヌト云フコトハ出來ナイノデアアルガ、免ニ角此結果ガ勢ハ安賣リヲ爲サシメタト云フコトノ例證ニナルノデアリマス、抑、生絲ノ取引所ト云フモノハ、私ハ寡聞ニシテ知リマセヌガ我邦ヨリ外ニハナイト云フコトデアアル、斯ノ如キ重要ノ物産ヲ取引ヲナスト云フコトハ投機的ニ之ヲ用ユルコトハ許サナイ、我國以外ニ於テハ之ヲ爲サナイノデアアルト云フコトデアリマス、而シテ又此横濱ノ取引所ガ需用供給ノ原則ニ基キタ價格ヲ維持シナカッタト云フ一例ハ、是ハ日本ノ生絲ヲ代表シテ居ルトコロノ信州ノ諏訪ノ同業者ガ、其製品ヲ横濱ノ取引所ニ於テ賣買取引スル目的ニ提供シナイト云フコトヲ決議シタ上ニ於テモ、明カデアルト信ズルノデアリマス、是ハ全ク諏訪ハ日本ノ生絲ヲ代表シテ居ルモノデアラッテ、信州ノ上一番ガ即チ日本ノ第一ノ代表絲デアアル、其產額而モ日本ノ生絲ノ殆ド六割ヲ產出スルトコロノ諏訪ガ、横濱ノ取引所ニ向テ其製品ヲ賣買取引ノ目的ニ提供シナイト云フコトヲ決議シタト云フコトハ、是ハ明カニ取引所ガ需用供給ノ原則ニ則リ、價格ヲ維持シテ居ナカッタト云フ一例ト見ルコトハ決シテ過言ナイト私ハ信ズルノデアリマス、殊ニ斯ノ如ク實業家が取引所ニ向テ不信任の行爲ヲ爲シタ以上、表シタ以上ハ、當局者ハ之ニ向テ何トカシナケレバナルマイト私ハ思フノデアアル、取引所法第二十七條ニハ公益ヲ害シタルモノ云々トシテ、其取引ヲ注意スルコトモ出來ル、停止スルコトモ出來ル、禁止スルコトモ出來ルノデアアル、然ルニ斯ノ如キ場合ガ生ジタニモ拘ラズ、我農商務省ハ之ヲ看過シテ何等之ニ注意ヲ與ヘナイノミナラズ、營業者ガ幾多警告注意ヲ與ヘタルニモ拘ラズ、之ヲ一切採用シナカッタト云フコトハ、實ニ暴落ニ陥レシメタ其原因ニ付テハ、主務省ニ於テモ與テ力アリト申シテモ是亦過言ナイト私ハ思フノデアリマス、特ニ此點ニ關シテ營業者ノ注意シタルコトハ一再ニ止ラヌト申シテ居ル、斯ノ如キ事ハ實ニ宜シク御注意ヲ願ハナケレバナラヌコト、思フノデアリマス、抑、斯ノ如キ我國ノ生絲ト云フモノガ悲境ニ至テ居テ、マダ僅カニ自衛策ニ於テ今日七百圓ヲ保ツコトカ出來テ居ルノデアアル、此自衛策ヲ廢シタナラバ如何ニ低落スルカモ知レヌ位ノ現狀ニ及シテ居リマスカラ、是ハドウシテモ救済セバナルマイト私ハ思フ、試ニ昨年ト本年ト比ベテ見レバ、申スマデモナク昨年ノ生絲ノ輸出額ハ二億デアアル、羽二重ガ二千万餘デアアル、屑絲ガ千万圓デアアル、合計シテ二億三千餘万圓ハ是ガ海外ニ向テ我ガ蠶絲業家が輸出ヲ致シタモノデアリマス、其箇數ハ三十八万捆ト稱シテ居ル、本年ハト云フト箇數ハ三十万捆ハ出來ル豫定デアアル、乃至三十一万捆ハ出來ル豫定デアアル、斯様ニ申シマス、其五万捆バカリハ現ニ此處ニ減シタト云フコトハ何デアアルカト申シマスレバ、是ハ全ク歐洲戰亂ノ勃

發シタル結果、蠶絲業ニ對スル悲觀ガ終ニ此結果ヲ及ボシタモノデアルト云フコトデアアル、抑、歐洲戰亂ハ何時起ツタカト申シマスレバ、即チ八月デ、八月起テ既ニ此五万捆ノ減少ヲ來シタノデアルト見マスレバ、此勢ヲ以テ見マスレバ、明年ニ於ケル蠶絲ハ餘程減額スルデアラウト云フコトヲ營業者ハ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、若シ是ガ不幸ニシテ左様ナル豫言ガ中レリトスレバ、實ニ是ハ由キキ事デアッテ我外國貿易ト云フモノ、此調節ヲ計ルモノハ何デアアルカ、我國ニ於テハ全ク生絲ガ其役目ヲ致シテ居ルノデアアル、若シ生絲二億三千餘万圓ノ外國輸出無カリセバ、我貿易ハ少數ニナッテ輸入ハ倍三倍ニ及ブト云フ結果ヲ見ナケレバナラヌノデアリマス、其他此生絲ノ輸出ニ於テハ即チ是ハ金貨デアアル、之ヲ以テ彼ノ金貨ヲ取リ來ルノデアアル、故ニ正貨準備ノ元ト云フモノモ生絲ニ依ッテ成シ得ラル、ノデアアル、斯ノ如ク國家ノ經濟根本、國家ノ輸出貿易、正貨準備ノ基礎ヲ作ルトコロノ此生絲業ガ、此不振ニ陥タル場合ニ於テハ政府ハ全ク眞面目ヲ以テ之ヲ救済スル價值アリト私ハ信ズル者デアリマス、願レバ三十八年ニ於テ百二十銀行ガ破産ニ及シタト云フ時ニ、時ノ政府ハ如何ナルコトヲ爲シタカ、即チ六百萬圓ト云フ大金ヲ一銀行ニ投ジテ、而モ長期貸付ノ特權ヲ與ヘテ之ヲ救済致シタノデアアル、是モ其言フトコロハ單リ百二十銀行ヲ救フタメデアリ、是レ國家經濟ヲ救フ爲メデアアル、一般ノ經濟ヲ救フ爲メデアアル、此戰亂ノ場合ニ三方テ國家ノ經濟ヲ紊レガアルカラト云フ下ニ、即チ此救済ヲ爲シタモノデアリマス、免ニ角政府ハ經濟界ノ救済ヲ爲スベク一銀行ニ向テスラモ、六百萬圓ノ救済ヲ爲シタル實例ガ既ニアル以上ハ、國家ノ外國貿易ノ平均ヲ爲スモノ「フランス」ヲ爲スモノ、正貨準備ヲ爲スモノナル此生絲ニ向テ、相當ナル救済ヲ爲スモノ云フコトハ、政府者トシテハ當然爲スベキ義務アルモノト私ハ信ズルモノデアリマス、免ニ角米價調節ト云ヒ、或ハ蠶絲業救済ト云ヒ、何レモ目下急務ノ問題ニ屬シマシテ、而シテ是ハ一日モ緩フルコトノ出來ナイモノデアアル、又此救済ハ何レモ國家ノ存立上、國家ノ基礎ノ確立上、實ニ必要缺クベカラザル案デアリマスガ故ニ、此成立ヲ希望スル次第デアリマス

(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 加賀卯之吉君

(加賀卯之吉君登壇)

○加賀卯之吉君 諸君、私ハ本建議ニ付テハ多少ノ因縁ヲ持ッテ居リマス、即チ過ル三十一議會ノ當時ニ於テ、豫メ今日ノ如キ事アララフ豫期シマシタ故ニ、時ノ政府ニ向ッテ此問題ニ付テ質問致シタコトガゴザイマス、諸君ハ尙新ナル記憶ガ存スルコトデアラウト存ジマス、然ルニ今回政友會諸君カラ此案ガ出マシタ以上ニハ、私ハ其主義政見ヲ異ニ致シマシテモ、勢ヒ之ニ賛成セザルヲ得マセヌカラ、此ニ一言贊成ノ舉見ヲ述ベタイト存ジマス、小西君ガ二日前ニ質問致サレマシタシ、又唯今ハ御熱心ナル御演說ヲ承ハリマシテ、私共ノ如キ者ガ之ヲ補說スル必要ハゴザイマス、多少其徑路ニ付テ私ノ考ヘルトコロト、又諸君ノ考ヘルトコロト違フトコロガゴザイマスガ故ニ、一言辯ジタイト思ヒマス、米價ノ調節ノ必要ニ付テハ、無論論ヲ俟チマセヌ、何トモ異議ノ稱フルモノハゴザイマス、併ナガラ應急ノ策ト永遠ノ策トノ二ツガゴザイマス、若シ永遠ノ策ヲ講ズルト云フコトデアリマシタナラバ、是ガ調査、是ガ研究ニ時日ヲ要シマシテ、或

ハ其調査研究ノ出來上リマス時分ニハ、諸君ノ憂ハ取り去ラレテ或ハ今後ハ高クナツタ爲ニ廉クスル工夫ヲシナケレバナラヌト云フ時代ニ遭遇スルカモ知レマセヌ(チヨットサウナラヌヨ)ト呼フ者アリ)故ニ私ハ善後ノ策ト焦眉ノ急ヲ救フベキ一ツノ方法ヲ諸君ニ訴ヘタイト思ヒマス、ソレヲ訴ヘルニ付テハ是非トモ低降シタト云フ原因ヲ諸君ニ訴ヘナケレバナラヌト存ジマス(能ク知ッテ居ルヨ)ト呼フ者アリ)私ノ知り得ル限リニ於テ申シマスレバ、米價ノ低降ハ唯單ニ需要供給ノ關係、或ハ財政ノ關係、ソレ等ノモノニ依ラズシテ、他ニ大ナル原因ガアルト信ズルノデアリマス、米ノ低降ニ向ヒマシテハ今ヨリ一年以前デアリマス(儲ケタラウ)ト呼フ者アリ)即チ大正元年ノ六月ニ米價ガ暴騰致シマシテ、日本經濟協會アタリニ頻リニ其抑壓策ヲ講ゼラレタコトガアリマシタガ、其當時既ニ此低降ノ根ハ生ヘテ居タノデアリマス、當時今ハ此議席ニ居ラレマセヌガ、細野次郎ト云フ代議士ガアッテ、其時分非常ニ米價論ヲ唱ヘラレタコトガアリマシタ、併ナガラ其非常ナ暴騰ハ略々今日ノ底落ヲ產出シタル最大原因デ、當時カラ斯ノ如キ米價ガ騰貴スレバ何カ他ノ食物ヲ求メテ、而シテ此高イ米ヲ賣ラナケレバナラヌト云フ農民ノ思想ガ今日迄流レノデ、遂ニ最前齋藤圭次君ノ言ハレタ一種ノ食ヒ延シシ生ジタノデアリマス、試ニ統計ヲ取ッテ見マスト云フト、昨年ノ收穫高ハ五千二百何万石ト云フ數字ニナッテ居リマス、一昨年ノ數字ハ五千七百七十万石ト云フ數字ニナッテ居リマス、一昨年ノ供給力ヨリモ昨年ノ供給力ガ少ナイ、未ダ昨年ヨリ本年ニ及ンデ殘存ノ多イト云フ理由ハナイノデアリマス、數字ノ上カラ申シマス、所ガ米價ガ騰貴シテ是ナラバ米ヲ作ッテモ引合フ、開墾モ行レタ、水利組合モ出來タ、耕作ノ方法モ進歩シタ、肥料ノ使用方法モ改良シタ、各縣各府ニ於テ五石取リ六石取リ種々ナル懸賞法ヲ以テドウカ米ノ收穫法ノ多カラシコトヲ競争致シマシタ結果ハ、非常ナル進歩ヲ致シマシタ、殊ニ昨年ノ麥作ハ前代未聞ノ大豐饒デアッテ、統計ノ上デ申シマスト之ヲ二千五百萬ト申シマスケレドモ、事實ヨリ言フタナラバ恐ラクハ二千萬石以上ノ收穫ガアッタラウト思ヒマス、私共實験ニ依リマス、其他或ハ粟ヲ食ヒ、或ハ稗ヲ食ヒ、或ハ九州地方デハ甘藷ヲ食ヒ、或ハ東北地方ニ於テ馬鈴薯ヲ食フト云フノハ、米ノ價ガ高イタメニ外ノモノヲ食ッテ所謂食延シヲ試シタ結果ニ、加フルニ麥ノ價ガ宜イ、麥ガ宜イト云フノデアラフ非常ニ多ク作ッタメニ多少増獲ヲ得タト云フト、兩々相俟ッテ尙又之ニ昨年關稅ヲ撤廢致シマシテ朝鮮米ノ輸入ガ自由ニナリマシタ、其以前二ハ年々七十萬乃至七十三萬位シカ輸入シナカッタ、朝鮮米ガ昨年ハ關稅撤廢ノタメニ滔々トシテ本土ニ輸入シテ來マシタ、其數量ハ殆ド其倍額ニ達シテ居リマス、而シテ朝鮮米ガ何ガ故ニ斯ク多數ノ米ヲ輸入シ得ラレタカト申スト、一方カラ滿洲果ノ輸入シ、一方ハ外國米ノ碎ケ米ヲ輸入シ、粗食ノ結果日本ニ澤山輸入スルコトニナリマシタ、三方四方カラ供給過剩ノ結果需用者ヲシテ思惑心ヲ沮喪セシメタコトガ第一デアリマス、餘ルモノハ安イト云フノガ經濟ノ原則デアリマス、故ニ商人ノ方カラ之ヲ進シテ買ハウト欲シナイノミナラス、時ノ政府ガ時ノ政府ト云フト政友會ノ攻撃ヲスルヤウデ甚ダ恐入リマスガ、免ニ角其時ノ政府ハ米價ノ抑壓策トシテ朝鮮米臺灣米ノ定期代用ヲ應用シテ供給ノ道ヲ多クシタナラバ、米價ハ下ルダラウト云フ方策ヲ執ッテ、其當時其政策ハ稍當ッタカノ如ク思ヒマス、確ニ米價ガ低落シタ、ソレガタメ全國デ米ノ需用ガ百三十万石乃至百五十万石バカリ需用ヲ

一時減少シタ、ソレガ昨年ノ五月カラ本年ノ三月マデ及ボシタ、内地ノ定期取引市場ニ於テ日本ノ玄米ヲ取引シテ居ルモノハ、全然變ッテ朝鮮米ト臺灣米ヲ應用シタメニ其百三十五万石、是ハ平均五箇年ノ需用高デアリマスガ、其需用高ト云フモノハ全ク取去ラレシマッタ、ソコデ商人ノ方カラ更ニ買ヒニ往ク必要ガナクナッタ、一方ハ農民ノ方デ生産者ノ側デ云フト、買ヒニハ來ナイガ後ニハ高クナラウト思ッタ、殊ニ政府ハ二硫化炭素ノ燻蒸ヤ米券制度ヲ獎勵シ、種々生産者ニ米ノ思惑ガ食物ヲ與ヘタメニ、生産者ハ其機ニソレヲ利用シテ益々長期ノ思惑ヲシタ、其思惑ヲシテ供給ハ益々多カラシメタト云フトハ今日ノ大低降ヲ產出シタル最大原因デアラル、決シテ或ル御趣意ニ依ッテ、甚ダ恐入リマスガ、現政府財政政策ノ影響ト云フトコトヲ言ハレマシタガ、或ハ其以前カラ既ニ低降ノ運命ヲ持ッテ居ッタ、又此政府ニナッテカラ無論下ッテ居リマスガ、前ノ政府ノ時代ニ於テモ確ニ下ッテ居ッタ、若シ嘘ナラ茲ニ統計表ガアリマスガ申シマス(ソナナコトハ聞ク必要ガナイ)ト呼フ者アリ)免ニ角サウ云フトハ聞ク必要ガナケレバ宜シイ、私モ言ヒマセヌガ、前カラ下ルベキ運命ヲ持ッテ居ッタ、ソコデドウシテモ政府ニ向ッテ吾々モ諸君ト共ニ米價ノ維持策ヲ是非シナケレバナラヌト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、ドウシテモ最前齋藤圭次君ノ言ハレタ中ニアリマスガ、此御達名ノ中ニハ曾デ米價ヲ低降セシムベシ、米價低降セザレバ生産工業發達ヒズト云フ議論ヲ以テ、吾々ノ米價釣上ゲニ反對シタ方モ見エマセウデアリマスガ、其人等モ既ニ之ニ同意サレタ以上ハ、是非トモ是ハ高イモノハ安クシ安イモノハ高クスルノガ調節デアリマスガ、免ニ角米價ヲ相當ノ位置ニマデ回復スベキコトハ必要ナコトデアラウト思ヒマス、ソコデ私ハ先ツ應急策トシテ(分ッテ分ッテ)眞面目ニヤラヌトイカヌ)ト呼フ者アリ)眞面目ニヤル、ソコデ私共ハ斯ウ云フ必要ガアラウト思ヒマス、政府ノ諸君ハ能ク聽イテ下サイ、農務局長ガ居ルカラ聽イテ下サイ、ドウシテモ此米價調節ノ第一ニ必要ナルノハ都會ト田舎トノ商取引ノ機關ノ完全デアイト云フト、例ヘバ最近ノ例ヲ舉ゲテ云フト東京ノ銀行デ米ノ這入ッテ來ル季節デアアル、新米ノ時期デアアルト云ッデ米ノ資金ヲ準備シテ居ル、更ニ地方カラ來ナイ、ソコデ持ッテヘテ前金ヲ以テ地方ノ米ヲ買ヒニ行カナケレバナラヌ、米ノ買入ハ期日ガアル、近ク云フト宮城縣ト東京、本國米ト東京米ノ關係ノ如キ其一例デアリマス、生産者ト需要者ト間ニ介立シテ需給ノ圓滑ヲ計ル機關ヲ完全ニシナケレバナラヌコトガ第一デアラウト思フ、ソレカラ第二ニハ是迄米ト云フモノニ金ヲ要シタガ、銀行ト云フモノガ凡ソ地方ニ限リガアル、何ガ故ニ限リガアルカト云フト、庫荷證書或ハ米券證書ヲ以テ銀行ハ割引スルコトガ出來ヌ、ソレデ一度米ニ金ヲ貸ストソレダケノ金ガ固定スル、山形縣ノ庄内デハ一時米ヲ二十万石バカリ貯藏シタコトガアリマス、四百萬ノ金ガ固定シタ何等地方ノ實業ニ融通スルコトガ出來ナカッタト云フ實例ガアル、大分縣ノ銀行デモサウ云フ實例ガアルコトヲ認メテ居リマス、宮崎縣ノ銀行デハ爲替ガ組メナイト云フ事實ガアル、此邊ニ水野君ガ居ルダラウ、水野君ナドハ能ク知ッテ居ル苦デアリマス、サウ云フ所デハ全ク生産者ガ困ル、ソコデ中央銀行ニ命ジテ擔保制度ヲ變サセテ、ドウシテモ米券見返品ノ中ニ加ヘサセルト云フトハ第二ノ必要ナ問題デアラウト思フ、ソレカラ第三ニハ帝國農會ナドカラ頻リニ要求シテ居リマス、私モ贊成ノ一人デアリマスガ、此米倉制度デアリマス、米倉制度ト云フモノヲ設ケルコトガ是非必要ナコ

ト、農業倉庫ナリ蓄積倉庫ヲ設ケルコトノ必要ハ無論デアリマスガ、偶々本年ノ如キ米價低落ノ時期ニ際シマス、之ヲ採用スル者ガ現ニ東洋第一ト唱ヘテ居ル朝日新聞ガ米券制度問題ヲ打壞シテ居タ、ソレハドウ云フ理由ノ下ニ打壞ハスカト云フト、サウ云フモノヲ拵ヘテ農民ニ思惑心ヲ助長セシムル、ソレガ爲ニ長期ノ思惑ヲシテ思ハヌ低

落ヲ招イタ、是ハ農家ノ自業自得デアルト云フコトデアルケレドモ、是ハ偶々其半面ヲ見タ議論デアラ完全ナ議論トハ言ヘナイ、昨年一昨年此米券制度ノ效用ハ世間ガ能ク認メテ居ルノミナラズ、米券倉庫ガアツテ融通ノ道ヲ與ヘルコトガ非常ニ利益ナモノデアル、唯茲ニ注意スベキコトハ此制度ヲ獎勵スルト同時ニ、生産者ヲシテ成ベク思惑ヲセシメ

ナイト云フ方針ヲ政府ニ執ツテ貰ヒタイ、ソレハ農民ト云フモノハ誠ニ眞面目ナモノデ投機ナドヲスベキ性質ノモノデアナイ、トコロガ偶々サウ云フ制度ガアルト自然ニ其方ヘ導カサレ易イ、ソレヲ矯正スルニハ是非トモ米ノ販賣方法ヲ高イ時ニ賣ルトカ、或ハ時期ヲ見テ賣ルトカ云フコトヲセズニ、成ルベク或ル時期ニ於テ平均シテ賣ラスト云フコトガ、生産者ノ安心スベキ方法デアルト思ヒマス、是モ確カニ政府ノ注意スベキ問題デアラウト思フ、ソレカラ小サイ問題デアリマスケレドモ、其時期ニ於テ其米ニ於テ局限セラレテ居ル問題

デ、時期ト其品質ト——爲ニ年中行ハヌモノデアルケレドモ、海外輸出獎勵ノ如キモノモ確カニ米價調節ノ一助デアルト思フ、是ハ年々十萬二十萬、多イ時テ過去ノ歴史ニ於テ百萬出タコトガアリマスケレドモ近來サウ云フコトデアリマセヌ、アリマセヌガ縱令少額ト雖トモ輸出ノ獎勵金ヲ與ヘルト云フコトモ一ツノ方法デアラウト思フ、而シテ此米ガ海外ニ出テ行クコトニナレバ、國內ノ人心ガ如何ニ變化スルカ、農民ノ心ガ如何ニ變化スルカ、商人ノ意思ガ如何ニ轉換シテ來ルカ、誠ニ面白キ趣味ノアル問題デアルト思ヒマス、而モ費ストコロモノハ少クシテ、得ル所ノ印象ハ頗ル高尚ノモノデアルト信ズルデアリマス、一番初メニ申シマスガ生産者ノ需用者ノ取引機關ガ不備デアルト云フコトヲ申シ

マスガ、其最モ痛切ニ感ズルモノハ各地ニ於ケル延取引、或ハ直取引ノ類ノモノデアリマス、深川ニ於テ直取引市場ト云フモノガアリマシタガ、一昨年来價ノ暴騰ノ折ニ米價ノ暴騰ヲ助クル一ツノ機關デアルト云フ惡名ノ下ニ、此營業ヲ禁止セラレ、而モ起訴セラレテ居リマスケレドモ、公明ナル判官ノ裁判ノ下ニ此項無罪ノ判決ヲ受ケタト云フコトデアリマスガ、斯ノ如ク必要ナル機關ヲ何ガ故ニ政府ハ停止シテ置クカ、需給ノ圓滑ヲ圖ルニ最モ必要ナル機關ト信ズル、ソレヲ害用スル者ガアツテ空取引ヲ行フ、賭博ヲ行ハルメト云フ一ツノ理由ガ立タヌデアリマセヌケレドモ、眞正ナル直取引、眞正ナル延取引

ノ如キハ熊本縣デモ現ニ獎勵シテ居ル、宮城縣地方デモ行ハレタ、アノ眞面目ナモノヲ何故ニ停止シテ居ルカ、是等モ政府當局者ノ大ニ考フベキコト、思ヒマス、其他或ハ帝國農會カラ建議致シマシタ朝鮮米代用撤廢ノ如キ、或ハ農業者ニ資金ヲ與ヘル如キ、種々ナル問題ガアリマセウ、或ハ備荒貯蓄ヲ設ケルト云フコトモ確カニ一ツノ制度デアルト思ヒマスガ、兎ニ角此問題ハ目下ニ迫ル問題ニシテ、決シテ一日ヲ緩ウスベカラザル問題デアリマスカラ、政府ハ其低落ノ由テ來ル原因ヲ調査シテ速ニ適當ノ法案ヲ提案セラレテ、此時局ヲ救済セラレムコトヲ本員ハ希望スル次第デアリマス

(同感々々「ト呼フ者アリ」)

○中村啓次郎君 本員ハ議長指名ノ委員十八名ヲ選ンテ、之ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中村君ノ發議、議長指名十八名ノ委員ニ付託スル動議ニ贊成ガアルヤウデゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ中村君發議通り可決致シマシタ、日程第十五ニ戻リマス

航空事業國庫補助ニ關スル建議案

○議長(奥繁三郎君) 陸軍大臣ハ本日ハ出席ガ出來マセヌサウデアリマス

○小山完吾君 出來マセヌケレバ大體ニ於テ本案ニ贊成デゴザイマスカラ、何レ機會ヲ待ツコト、シテ、私ノ質問ハ取消シマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第十五ニ付キマシテハ反對意見モ出マセヌ、委員長報告通り御贊成ト認メル考デゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナケレバ委員長報告ニ御贊成ト認メマス、仍テ其通り決定致シマシタ、日程第十六名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、三輪市太郎君

第十六 名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案(三輪市太郎君外三名提出)

名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案

本鐵道ハ東海道線ト北陸線トヲ連絡スル爲名古屋富山間ニ敷設スル捷路線ニシテ其ノ延長百四十五哩ヲ算シ之ヲ既成線ニ比スレハ距離ヲ短縮スル著大ナルモノアリ則チ既成ノ北陸線ニ由レハ此ノ間ノ距離ハ二百三哩、中央線ヲ迂回スレハ二百七十七哩ニシテ而モ兩線共ニ日本海岸ニ沿フヲ以テ一朝有事ノ際軍事上危險ノ虞ナシトモ然ルニ本線ノ敷設成ナルニ於テハ此ノ虞毫モ之レナキノミナラス距離ヲ短縮スル實ニ此ノ如シ加フルニ沿線ニハ尾張國小牧町、犬山町、美濃國太田町、金山町、飛騨國下呂町、高山町、越中國猪谷町等ノ小都會アリテ其ノ各地商工業ノ發達ニ資スルハ勿論此ノ間無限ニ包藏スル大森林及礦物ハ之ニ依リテ開發セラレ殖産興業上其ノ效果ノ顯著ナルモノアルヘキハ疑ヲ要セヌ實ニ本鐵道ノ敷設ハ軍事上及經濟上一日モ忽諸ニ附スヘカラサルモノタリ故ニ政府ハ速ニ本鐵道ノ敷設ニ著手シ以テ國運ノ發展ニ資セラレムコトヲ望ム

(三輪市太郎君登壇)

○三輪市太郎君 議題トナリマシタル名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案ノ説

明ヲ致シマス、御疲レノヤウデアリマスデ極メテ簡單ニ申述ベマス（「明瞭ヲ要ス」ト呼フ者アリ）本線ハ我國本土ノ中央ニ於テ横斷シテ、東海道線ト北陸線トヲ聯絡スル線路デアリマシテ、起點ノ名古屋附近ニハ御承知ノ通り名古屋港アリ、武豐港アリ、四日市港アリ、又終點ノ富山附近ニ於テハ伏木港アリ、陸軍ニ於テハ起點地ニハ二師團及豐橋十五師團アリ、又終點ニハ金澤即チ九師團ガアリマシテ、軍事上ニ於テモ最モ必要ナル線路デアリマシテ現在ノ線路ニ依テ兵ヲ動カス場合ニハ何レノ線ヲ廻ハルモ日本海ニ沿ウテ甚ダ一朝有事ノ場合ハ危險デアリマス、又中間ニ於テハ無限ノ森林及鑛山業等モ潤澤ナモノデゴザイマシテ、其ノ中間ニハ名古屋ヲ起點トシテ小牧町・犬山町、或ハ飛騨ノ高山等ノ都會地モアッテ、商工業ニ於テモ實ニ此線路ハ必要デアラウト認メスル、昨年モ滿場一致ヲ以テ御贊成ヲ下サレ、政府ニ於テモ亦此線ハ必要ナリト云フコトハ明言致シテ居ルノ線路デアリマスルカラシテ、ドウカ滿場ノ諸君一致ヲ以テ御贊成アラントラ望ミマス

（「贊成々々」ト呼フ者アリ拍手起ル）

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ト聲起ル）

○議長（奥繁三郎君） 中村君ノ動議ハ贊成者ガアルヤウニ認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ可決致シマシタ——諸君ニ御諮リ致シマスルガ、大分定員ニ缺ケサウデアリマスカラ、是デ本日ハ終ル考デゴザイマスルガ、尙ホ休憩シテ休憩所ニ居ラル、人ガアリマスルナラバ、呼寄セマスルガ、相成ベクハ散會シタイ積リデアリマス

（「異議ナシ」散會々々ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） 尙ホ一ツ御諮リスルコトガゴザイマス、第一部選出決算委員澤來太郎君ガ、常任委員辭任ノ申出ガアリマシタガ、許可スルニ決シテ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） 御異議ガナイト認メマス、依テ其後ノ委員ノ選舉ヲ速カニ爲サレテ、御報告アラムコトヲ望ミマス

○中村啓次郎君 本日ハ是ニテ散會セラレムコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） ツレデハ本日ハ是デ散會シマス

午後二時四十一分散會